

取扱説明書

40V型LEDバックライト搭載地上デジタルフルハイビジョン液晶テレビ

AT-40C01SR



ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。テレビを安全に正しくお使いください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

目次

はじめに

付属品	1
ご使用上の注意	2
スタンドの取り付け方	3
mini B-CASカードカバーの取り付け方	3
各部の名称と機能	4
リモコンのボタンと機能	5
リモコン使用上のご注意	5

準備をする

mini B-CASカードを入れる	6
アンテナと電源コードの接続をする	6
インターネットを利用する為の接続をする	7
リモコンに乾電池を入れる	7

各種設定

かんたん設定(初期設定)	8
個人情報	9
機器設定	10
mini B-CASカード情報	12
工場出荷時リセット	12
ネットワークを設定する	13

テレビ番組を楽しむ

テレビの視聴と設定	14
番組情報	16

番組表を使う	16
現在放送中番組を見る	17
視聴予約	17
番組検索	17
データ放送を楽しむ	18

録画・予約/再生の操作方法

録画の制限事項	19
USBハードディスクについて	20
ハードディスクの初期化	20
録画(直接録画と予約録画)	21
録画した番組を見る	22
録画リストの確認と削除	22
予約リストの確認と削除	22

テレビ各種の設定

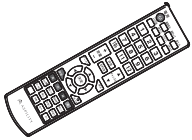
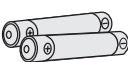
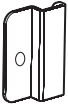
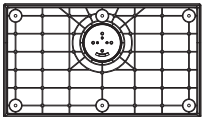
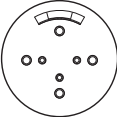
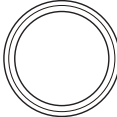
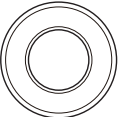
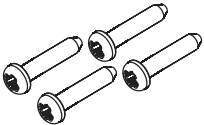
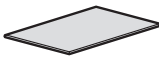
各種の設定	23
録画予約エラーメッセージについて	23

外部機器と接続する

接続のしかた	24
--------	----

その他

故障かな?! と思ったら	25
その他の情報	27
仕様	28

付属品	 リモコン..1個	 単4形電池..2個 (動作確認用)	 mini B-CASカード ..1枚	 mini B-CAS カードカバー..1個
 mini B-CAS カードカバー 取り付けネジ..1個	 スタンドプレート..1個	 スタンド軸..1個	 ワッシャーA..1個	 ワッシャーB..1個
 スタンド取り付け ネジ..4個	 保証書..1枚	 取扱説明書..1部		

はじめに

ご使用上の注意

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例 **注意** (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。

禁止 禁止の行為であることを告げるものです。

強制 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告	
	■ 万一、煙が出ている、臭気や異音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	■ この機器を改造しない 火災・感電の原因になります。 ■ 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。 ■ お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社にご依頼ください。
	■ 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。
	■ 電源コードを傷つけたり、破損させない。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	■ 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用しない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	■ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	■ 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
	■ この機器の開閉口から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない 火災・感電の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	■ 万一、異物が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	■ この機器を水にぬらさない 火災・感電の原因になります。雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないでください。
	■ 風呂場では使用しない また、水などをかけないでください。 火災・感電の原因になります。
	■ この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。
	■ 万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

注意	
	■ お手入れの際は安全のため電源コードをコンセントから抜いておこなう ■ この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜く ■ 移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ず電源コードをコンセントから抜いておこなう
	■ 電源コードを抜くときは、電源コードを引っ張らない 電源コードが傷つき、感電の原因になります。必ずACプラグを持って抜いてください。 ■ 濡れた手で電源コードを抜き差ししない 感電の原因になります。 ■ 電源コードを熱器具に近づけない 電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
	■ この機器に乗らない 倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ■ 本体を落としたり、衝撃を与えない 故障・火災・感電の原因になります。
	■ 万一、この機器を落したり、破損した場合は電源を切り、販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
	■ 夏期の直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところに放置しない 機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。
	■ 次のような使い方はしない ・ 本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
	■ キャビネットなど閉めきったところに入れて使うときは、換気のため本機の周り約3cm以上空ける
	■ 湿気やほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。 ■ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因になります。

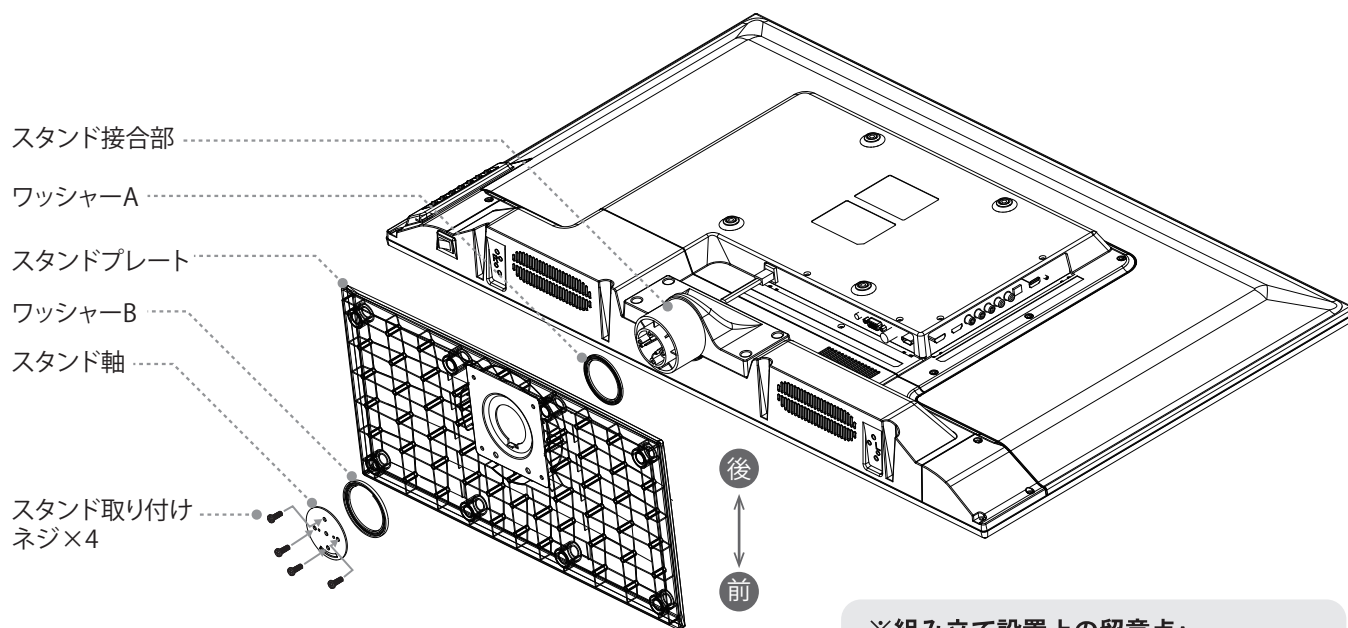
<電池についての安全上のご注意>

警告	
	■ 電池は乳幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込むと、窒息することがあります。 また消化器官内に留まると潰瘍などの原因となり大変危険です。 飲み込んだときには、ただちに医師に相談してください。
	■ 電池が液漏れしたときは素手でさわらない ・ 漏れた液が目に入ると、失明の恐れがあります。 ・ 皮膚に付着した場合は、炎症など傷害を負う可能性があります。 ⇒ 炎症などの症状が出た場合は、ただちに医師に相談してください。

注意	
	■ 電池を加熱したり、火の中に投入しない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	■ 電池は分解しない 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	■ 電池は正しい向きに入れる 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	■ 指定以外の電池を使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。 ■ 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	■ 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは電池を取り出す 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

はじめに

スタンドの取り付け方



上図を参考に、次の手順でスタンドを取り付けてください。

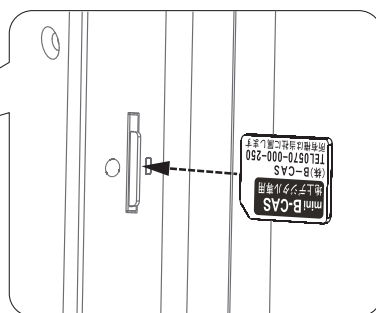
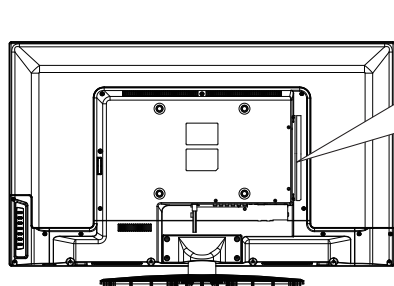
スタンドプレート部分とスタンド接合部を組み立てます。

ワッシャー B は凹んでいる方を底面に向けてください。4 本のスタンド取り付けネジを使用してください。

※組み立て設置上の留意点:

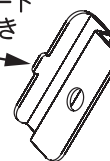
- スタンドプレートを安全に正しく取り付けるために、マニュアルに従って、ドライバーを使用してください。
- スタンドプレートを取り付けるとき、ネジ穴の緩みや破損などを防ぐため、電動ドライバーなどは使用しないでください。
- 液晶画面を傷つけないように、タオルや布などをひいて、組み立ててください。

mini B-CASカードカバーの取り付け方

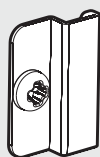


- 1** mini B-CASカード（付属品）を図のように差し込みます。

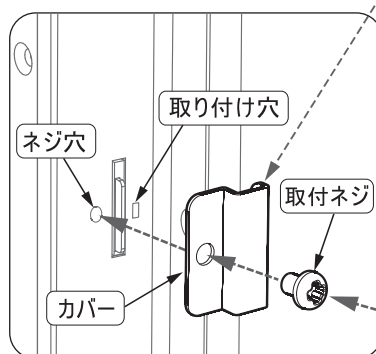
mini B-CASカード
鉄カバーの突き
出した部分



注意



幼児がmini B-CASカードを誤って飲み込み窒息する恐れを防ぐ為、テレビ設置時、mini B-CASカードカバーをテレビ背面端子部のmini B-CASカードスロットに取り付け、mini B-CASカードカバー取付ネジで締めて下さい。カードの紛失、盗難のリスクも低減できます。



注意：mini B-CASカードカバー取付ネジは付属品のネジの一番短いものです。

- 2** mini B-CASカードカバー（付属品）の突き出た部分をmini B-CASカードスロット側の取り付け穴に差し込み、mini B-CASカードカバー取付ネジ（付属品）をスロットのネジ穴に重ねます

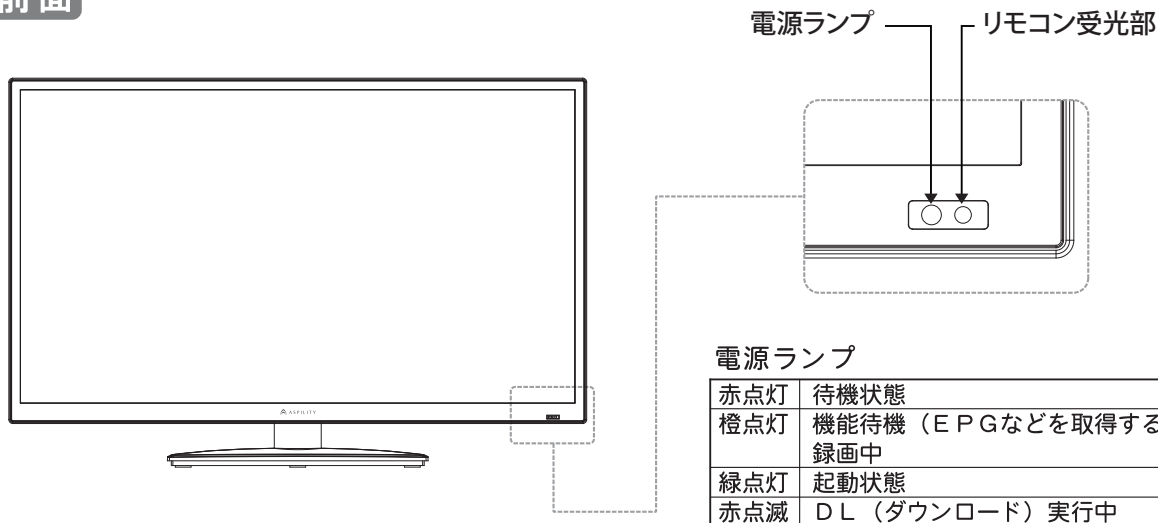
ドライバー（別売）

- 3** ドライバー（別売）でネジを締めます。

はじめに

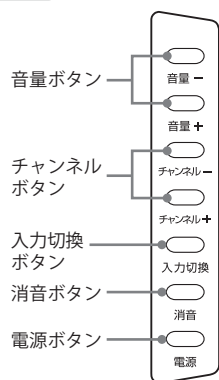
各部の名称と機能

前面

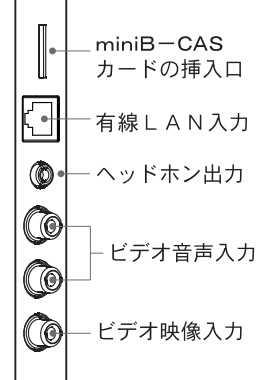


背面

テレビ操作部



入出力端子

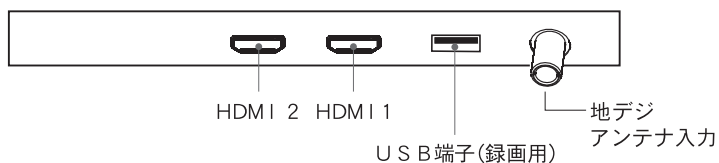


【入力切替ボタンについて】

本体の入力切替ボタンを繰り返し押すことで、次のように入力を切り換えます。リモコンの入力切替ボタンと動作が異なりますのでご注意ください。

地デジ → ビデオ → HDMI1 → HDMI2
↑

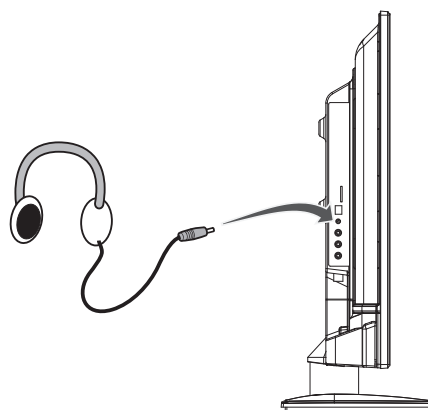
入出力端子



側面

※ヘッドホンを使用するときには

- ・テレビ背面にある「ヘッドホン出力端子」へ直径 3.5mm ステレオミニプラグを挿入してください。
- ・ヘッドホン出力端子を使用している時は、テレビ本体のスピーカーから音声は出力されません。ヘッドホンの音量は、本体やリモコンにある「音量」ボタンで調節できます。
- ・ヘッドホン出力端子から抜き差しする時は、音量を小さくしてください。突然大きな音が出てしまうことがあります。

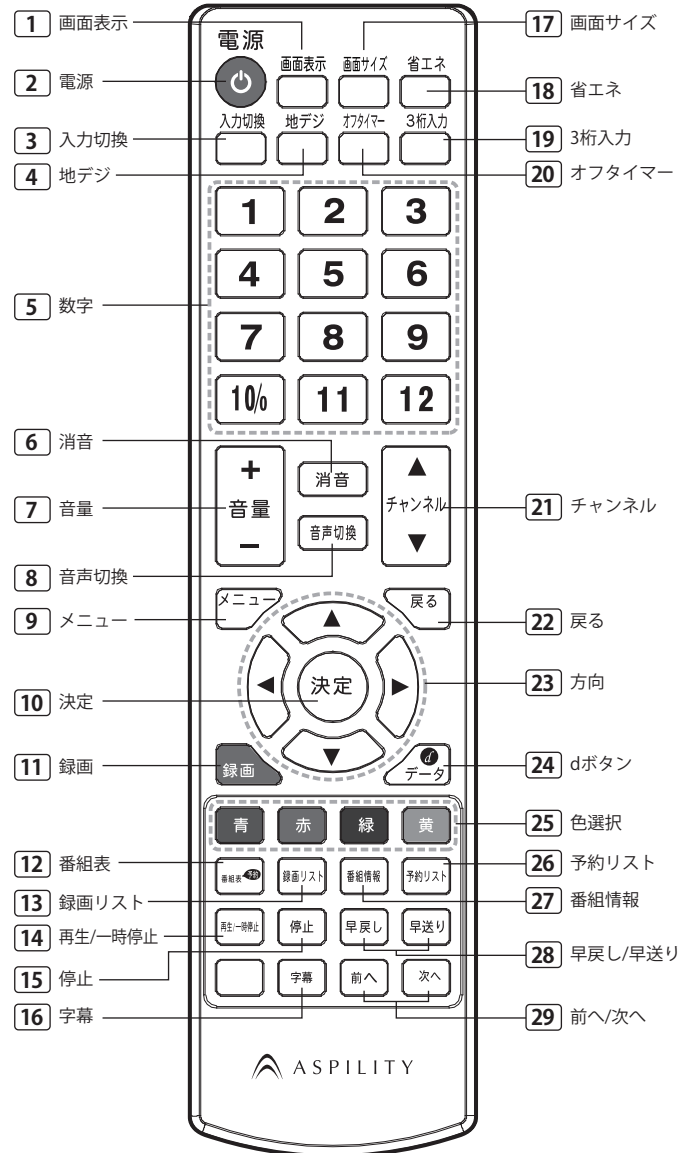


はじめに

リモコンのボタンと機能

ご注意：本取扱説明書に掲載している画面表示は説明のものであり、実際の表示とは多少異なります。

1.画面表示	視聴中のチャンネル等の情報を表示します。
2.電源	電源のオン・オフを切り換えます。
3.入力切換	接続した外部入力映像に切り換えます。
4.地デジ	地上波放送に切り換えます。
5.数字	主にチャンネル選局時に使用します。
6.消音	消音の入・切を切り換えます。
7.音量	音量の大小を調節します。
8.音声切換	主・副音声を切り換えます。
9.メニュー	各種設定を行うメニュー画面を表示します。
10.決定	主にメニュー画面等で選択項目の決定時に使用します。
11.録画	HDD接続時、録画を行う際に使用します（※1）。
12.番組表	番組表画面を表示します。
13.録画リスト	録画した番組の一覧が表示されます（※1）
14.再生/一時停止	録画した番組の再生や一時停止に使用します（※1）。
15.停止	録画した番組の再生を停止します（※1）。
16.字幕	字幕の表示を切り換えます。
17.画面サイズ	画面の表示サイズ（縦横比等）を切り換えます。
18.省エネ	省電力の設定画面を表示します。
19.3桁入力	チャンネル選局の為の数字入力時に使用します。
20.オフタイマー	オフタイマーの設定画面を表示します。
21.チャンネル	チャンネルを切り換えます。
22.戻る	メニュー画面等で前項目に戻る際に使用します。
23.方向	メニュー画面等で項目選択に使用します。
24.dボタン	データ放送画面に切り換えます。
25.色選択	データ放送画面で項目選択等に使用します。
26.予約リスト	録画を予約した番組の一覧を表示します（※1）。
27.番組情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
28.早戻し/早送り	録画番組の再生中に早戻し/早送りに使用します（※1）。
29.前へ/次へ	録画番組の再生中に前もしくは次の番組タイトルに移動します（※1）。



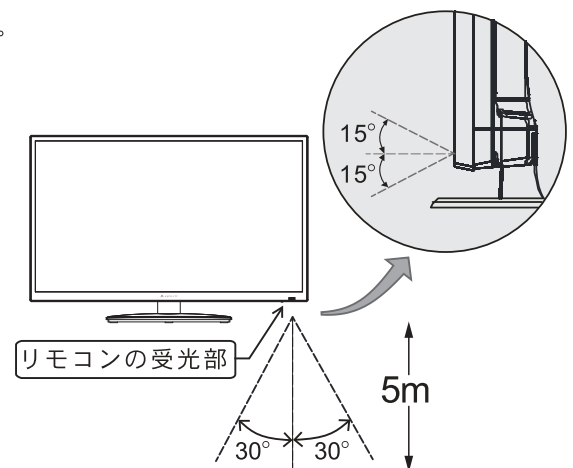
（※1） 外付けHDDを接続し、録画や再生を行う際の操作となります。
HDD未接続時は操作することができません。

リモコン使用上のご注意

- リモコンは本体の受光部に向けて操作してください。
- 水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンに衝撃を与えないでください。
- 付属の単4形乾電池は動作確認用のものです。

● リモコンの受信範囲

右図のようにテレビのリモコン受光部から左右30度、上下15度以内の角度、距離5m以内で使用してください。
角度がある状態で操作しようとすると信号が届かない場合があります。できるだけリモコン受光部正面から正対した状態でリモコン操作を行ってください。
リモコンと受光部の間に障害物（置物、雑誌、壁、扉などの遮蔽物）があると信号が届きません。リモコンで操作できない場合は障害物を取り除いてください。



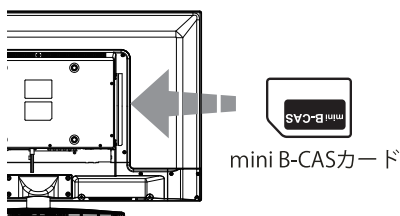
準備をする

mini B-CAS カードを入れる

mini B-CASカード 使用注意事項

- ・破損させないでください。
- ・金属端子部分には手を触れないでください。
- ・重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- ・水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- ・デジタル放送を視聴中にmini B-CASカードを抜き差しすると故障の原因になるのでおやめください。
- ・表裏及び挿入方向をよく確認し、カチッと音がするまで確実に挿入してください。
- ・miniB-CASカードを取り外すときは、下記の手順で行ってください。
 - ①テレビ本体の電源プラグを抜く
 - ②miniB-CASカードを軽く押し込む
 - ③指を離すとminiB-CASカードの端が少し飛び出す
 - ④端をつまんで引き抜く

※テレビ本体のminiB-CASカードスロットに、図の方向で挿入します。奥まで確実に挿入してください。



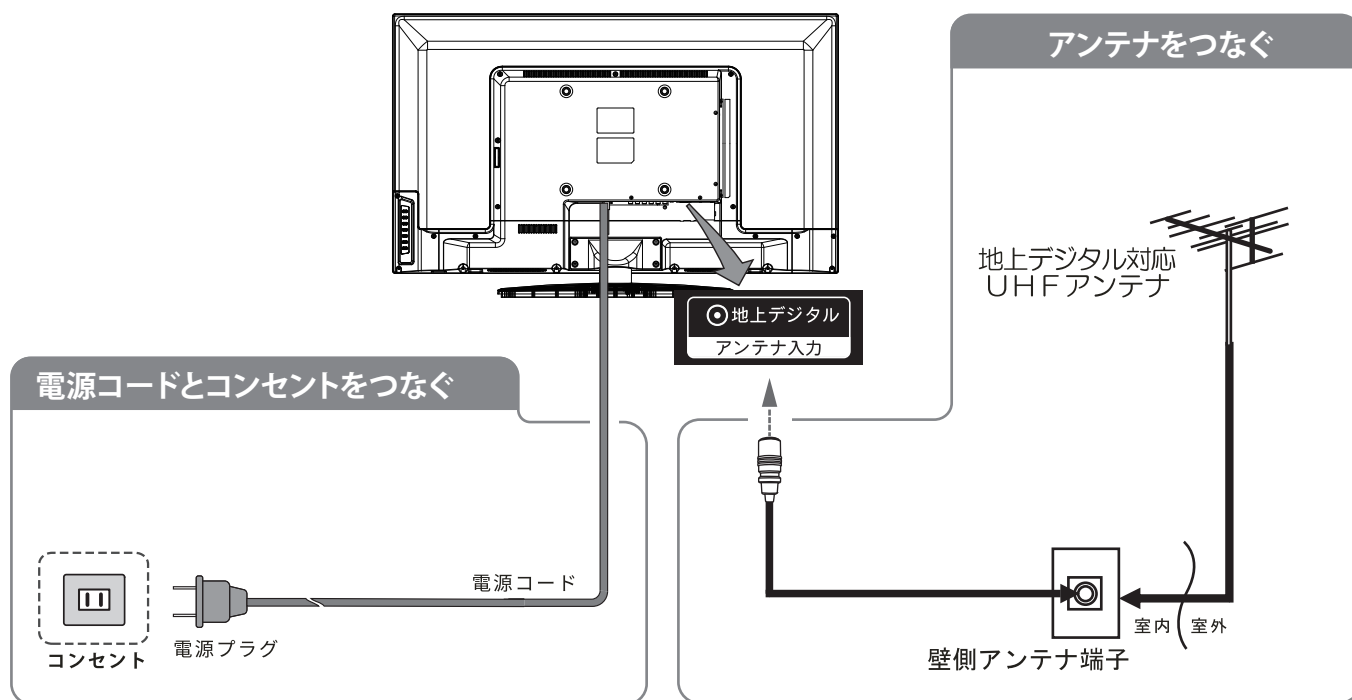
mini B-CASカードについて

- ※地上デジタル放送を視聴するために本製品に付属されているmini B-CASカードをご使用ください。
- ※mini B-CASカードは本製品の付属品として、使用許諾契約約款が記載された台紙に貼付されています。
- mini B-CASカードの所有権は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
- 開封すると使用許諾契約約款に同意したとみなされますので、開封前に使用許諾契約約款をよくお読みください。
- mini B-CASカードの保証期間は、本製品のお客様へのお引き渡し完了日から3年間です。詳しくは、mini B-CASカード使用許諾契約約款をご覧ください。
- 保証期間後にmini B-CASカードを交換する場合は、カード発行費用がかかります。
- mini B-CASカードのIDナンバーは、画面上で確認できます。
- mini B-CASカードを損壊、紛失した場合、B-CASカスタマーセンターまでご連絡ください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
B-CASカスタマーセンター
TEL:0570-000-250

アンテナと電源コードの接続をする

アンテナ線の接続方法はアンテナ線の形状によって異なります。下図をご参照頂き、接続してください。



- ・アンテナ工事には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・アンテナ線を接続するときは、必ずテレビ本体および接続機器の電源プラグを抜いてください。
- ・アンテナ線は必ず同軸ケーブルを使用してください。
- ・アンテナ線にデジタル機器を近づけないでください。
- ・ケーブルテレビに接続するときは、伝送方式や接続についてケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

お願い

準備をする

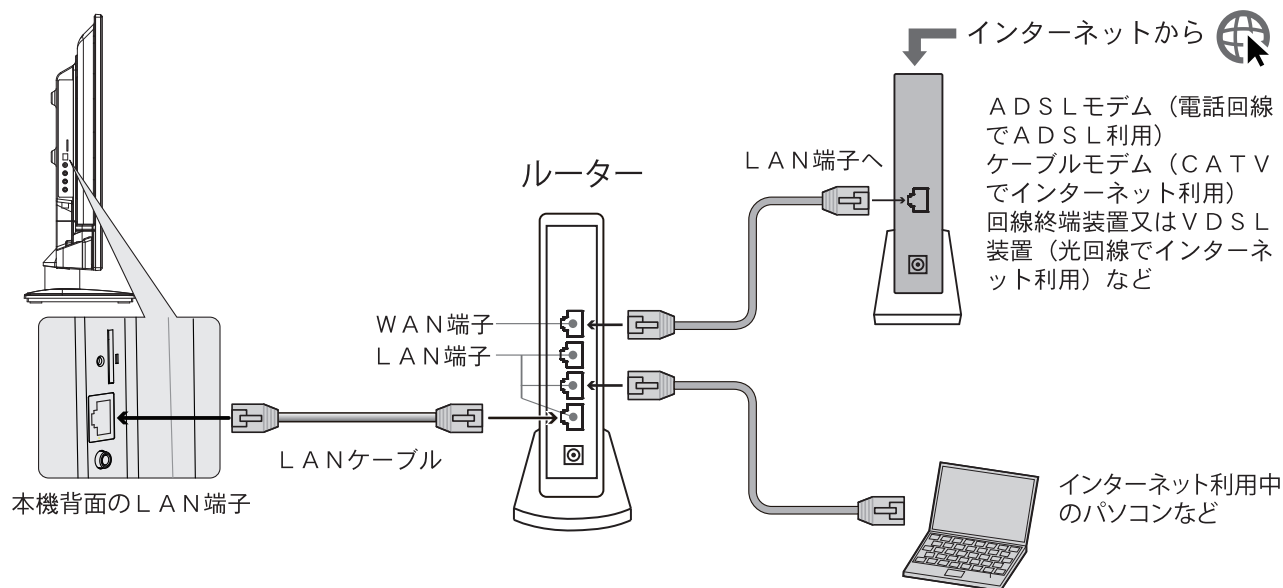
インターネットを利用する為の接続をする

接続のしかた

データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。

※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。

- はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー(ネット接続業者)か通信事業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。
- 接続完了後、必要に応じて「ネットワーク設定」を行ってください。
- すでにインターネットをご利用の場合、ルーターLAN端子と本機のLAN端子をLANケーブルで接続してください。「ネットワーク設定」は必要ありません。
- モデムとルーターが一体化されていることもありますので、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。



ご注意：LANケーブルを抜き差しする場合、本機と接続機器の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お知らせ

※本機でルーターやルーター内蔵モデムを設定することはできません。機器によってはパソコンなどで設定する必要があります。

※本機はISDN回線などでのインターネット及びダイヤルアップ通信を利用することはできません。

※取扱説明書に図示されていない機器を接続した場合、正常に通信できないことがあります。

※ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、正常に作動しないことがあります。

リモコンに乾電池を入れる

1. 矢印部分にあるツメを指で押しながら、上へ電池カバーを持ち上げてください。
2. 単4形乾電池のプラス（+）とマイナス（-）を間違えないように入れてください。
3. 指で押さえるツメと反対側にある電池カバーを留めるツメを、リモコン本体側に引っ掛けるようにして元どおりに閉めてください。

※ 付属している単4形乾電池2本は動作確認用です。ご使用になる場合は新しい乾電池をご用意ください。

乾電池の入れかた



かんたん設定

- 開封後、初めて電源を入れたとき、画面はかんたん設定が表示されています。
- アンテナ線の接続を確認し、電源コード、mini B-CASカードなどが前述のページで説明された通り、正しくテレビに差し込まれていることを確認してください。

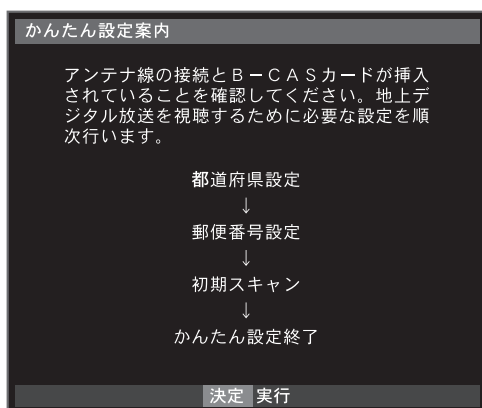
1 電源を入れます

→リモコンの電源ボタン、または本体の電源ボタンを押して電源を“オン”にします。オンの状態になると、本体右下の電源ランプが青色に点灯します。

※電源プラグがコンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。電源が入っていない時は本体の電源ランプが赤色に点灯します。

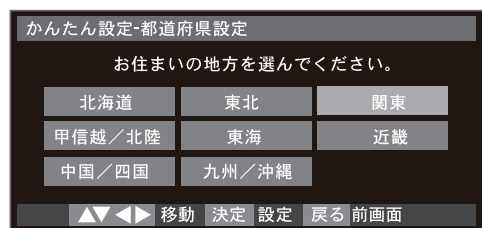
2 かんたん設定案内

→かんたん設定案内の表示画面で【決定】ボタンを押します。初期設定がはじまります。



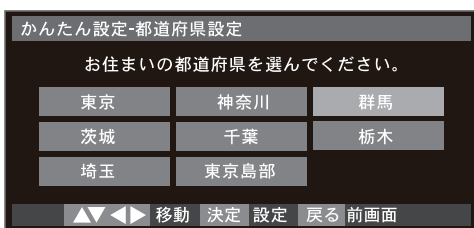
3 かんたん設定-都道府県設定

→お住まいの地方を方向ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。



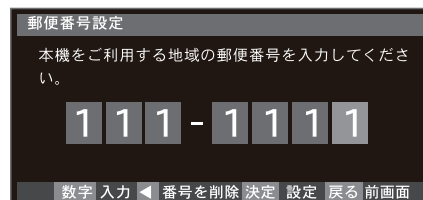
4 かんたん設定-都道府県設定

→お住まいの都道府県を方向ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。



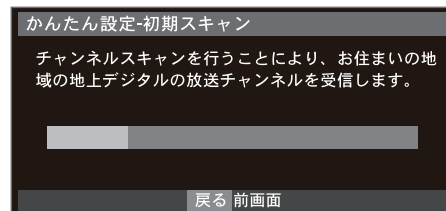
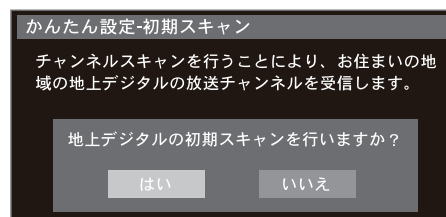
5 郵便番号設定

→数字ボタンでお住まいの郵便番号を入力し、【決定】ボタンを押します。



6 かんたん設定-初期スキャン

→地上デジタルのチャンネルスキャンを行います。方向ボタンで『はい』を選んで【決定】ボタンを押します。



スキャン中、スキャン度を黄色いバーで表示します。

7 かんたん設定-初期スキャン

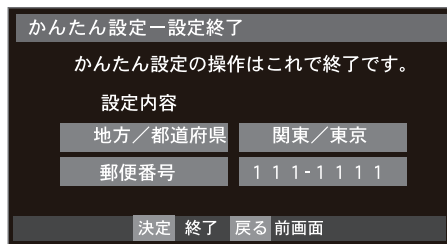
→スキャン完了、画面に受信チャンネルリストが表示されます。スキャン結果を確認し【決定】を押します。もう一度スキャンを行う時、【戻る】を押して⑥の初期スキャン設定から再度行います。

かんたん設定-初期スキャン		
リモコン	チャンネル	放送局
1	011	NHK総合1・東京
2	012	NHK総合2・東京
3		
4	021	NHKEテレ1東京
5	022	NHKEテレ2東京
6	023	NHKEテレ3東京
7		
8		
9	042	日テレ2
10	051	テレビ朝日
11	052	テレビ朝日
12	053	テレビ朝日
受信出来ない局がある場合は再スキャンをいして下さい。		
決定 次へ 戻る 前画面		

※スキャン中に放送波が見つかった、地域設定にてあわせた地域のチャンネル（放送波）をチャンネルボタンへ設定します。

かんたん設定(つづき)

8 かんたん設定一設定終了



【決定】ボタンを押し、かんたん設定を終了します。

■設定しても映らない場合

本機とアンテナの接続が正しくない場合があります。以下のことを確認して、再度設定してください。

①地上デジタル放送の受信方法

●屋外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナ、またはVHF/UHFの混合アンテナになっているかどうか確認してください。詳しい内容は電気店かアンテナ設置業者にご相談ください。

●ケーブルテレビの場合

ご契約のケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式かどうか確認してください。不明な場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問合せください。

②地上デジタル放送の受信強度の確認

(受信強度の確認方法は「アンテナ設定」をご参照ください)

《受信度50%未満の場合》

電波が弱い電波被害の可能性がありますので、お買い上げのお店、又はお近くの電気店にご相談ください。

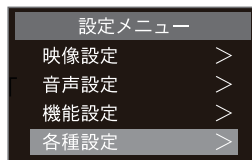
《受信度50%以上の場合》

アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？
ご確認の上、もう一度チャンネル設定を行ってください。

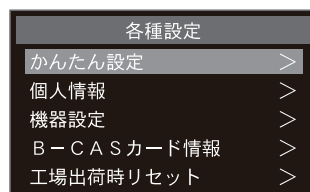
再度かんたん設定を行います

初めて「かんたん設定」設定後、再度設定を行う場合。

1 リモコンのメニューボタンを押し、設定メニューを表示します。【方向】ボタンで『各種設定』を選び、【決定】ボタンを押します。

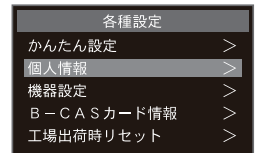


2 『各種設定』画面の『かんたん設定』を【上下】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。



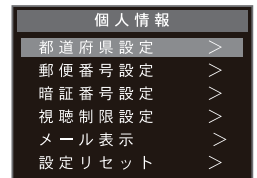
個人情報

1 リモコンの【メニュー】ボタンを押し、設定メニューを表示します。上下ボタンで『各種設定』を選び、【決定】ボタンを押します。



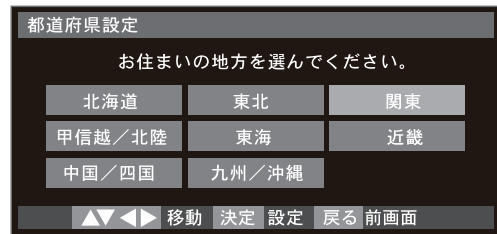
2 上下ボタンで『個人情報』を選び、【決定】ボタンを押します。

3 『個人情報』のメニュー表示で、設定したい項目(例；都道府県設定)を選び、【決定】ボタンを押します。

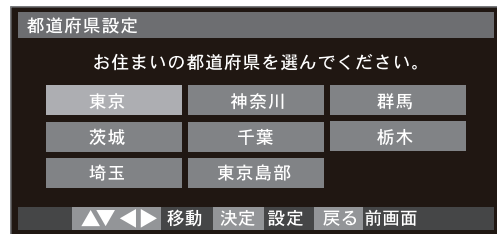


都道府県設定

1 お住まいの地方を【上下左右】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。



2 お住まいの都道府県を【上下左右】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。

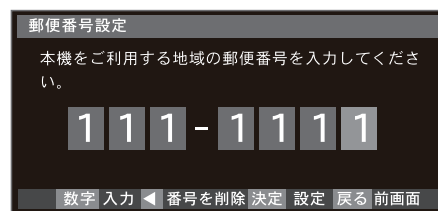


※地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定を行ってください。

郵便番号設定

郵便番号を設定すると、設定された地域のデータ放送情報がご覧になります。

1 【数字】ボタンで居住の郵便番号を入力し、【決定】ボタンを押します。設定完了です。



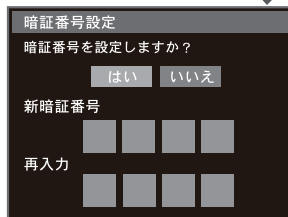
※設定された地域に関する気象情報、ニュース、地震津波警報、その他文字情報などのデータ放送情報がご覧になります。

暗証番号設定

- 1 暗証番号設定の表示画面で、【左右】ボタンで『はい』を選び、【決定】ボタンを押します。



- 2 【数字】ボタンで暗証番号を入力し、もう一度再入力の枠に同じ番号を入力し確認を押します。



- 3 【決定】ボタンを押して設定を終了します。



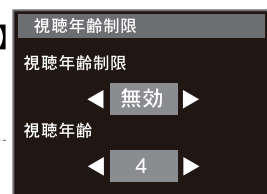
※ご購入時、本体には暗証番号が設定されていません。初めて設定する場合には、直接暗証番号を入力して設定します。
 ※設定した暗証番号は忘れないようにメモに取って保存してください。
 ※設定した暗証番号を変更したい場合、既存の暗証番号を入力して再度設定しなおしてください。
 ※暗証番号を忘れた場合、本体を初期化してから再度暗証番号を設定してください。

視聴制限設定

- 1 【数字】ボタンで4桁の暗証番号を入力します。



- 2 視聴年齢制限の表示画面で『有効』あるいは『無効』を【左右】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。

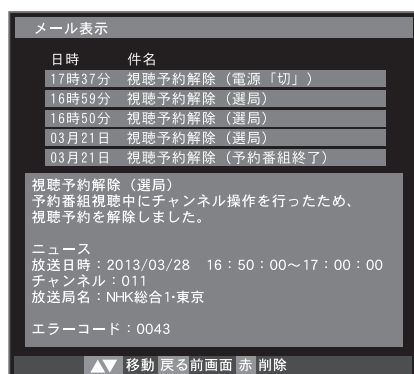


- 3 【左右】ボタンで制限視聴年齢を設定します。『4～19』才まで設定できます。【決定】ボタンを押して設定を終了します。

●設定しない場合、視聴年齢制限を無効に設定します。

メール表示

- メールには、放送局からのお知らせや、製品動作エラーの情報、本機の機能向上のなどがあります。



※メールは最大14件まで保存できます。14件を超えるメールは、自動的に古いものから順に削除され、新しいメールが追加されます。

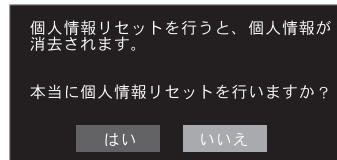
設定リセット

- すでに設定されている都道府県、郵便番号等の個人情報の設定をリセットします。

- 1 【数字】ボタンで暗証番号を入力します。

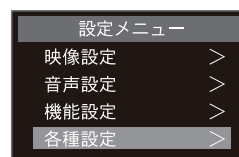


- 2 【左右】ボタンで『はい』を選び、【決定】ボタンを押します。

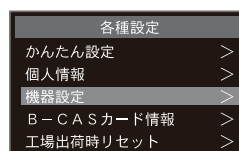


機器設定

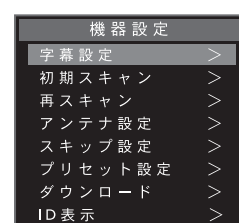
- 1 リモコンの【メニュー】ボタンを押し、設定メニューを表示します。【上下】ボタンで『各種設定』を選び、【決定】ボタンを押します。



- 2 各種設定の表示画面で『機器設定』を【上下】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。



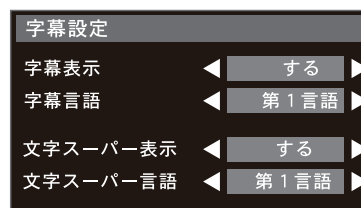
- 3 『機器設定』の表示画面で設定したい項目を選び、【決定】ボタンを押し、各種設定を行います。



字幕設定

- 地上デジタル放送に付加して送られてくる字幕・文字スーパーの表示方法を設定します。
- 字幕：放送されている映像・音声と同期した字幕サービス（訳字字幕など）
- 文字スーパー：放送されている映像・音声と同期していない字幕サービス（ニュース速報、編成ことわり、時報など）

- 1 【左右】ボタンで字幕表示の『する』あるいは『しない』を選び、【決定】ボタンを押します。



- 2 【左右】ボタンで字幕言語の『第一言語』あるいは『第二言語』を選び、【決定】ボタンを押します。

- 3 【左右】ボタンで文字スーパー表示の『する』あるいは『しない』を選び、【決定】ボタンを押します。

- 4【方向】ボタンで文字スーパー言語の『第一言語』あるいは『第二言語』を選び、【決定】ボタンを押します。**

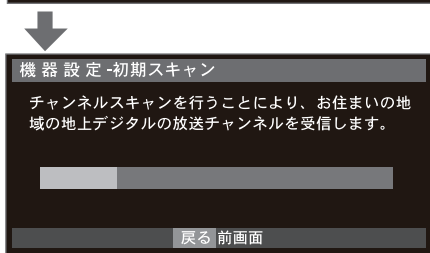
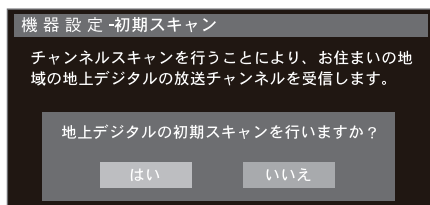


- ※字幕表示と第二言語がある番組のみ設定できます。
- ※デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害発生時、緊急文字情報が得られます。
- ※複数の言語の文字スーパーに対応した番組では表示する言語を選択することが出来ます。

初期スキャン

- ・チャンネルスキャンを行うことにより、お住まいの地域の地上デジタルの放送チャンネルを受信します。

- 1【左右】ボタンで『はい』を選択し、【決定】ボタンを押します。**



- 2【決定】ボタンを押して終了します。**

リモコン	チャンネル	放送局
1	011	NHK総合1・東京
2	012	NHK総合2・東京
3		
4	021	NHKEテレ1東京
5	022	NHKEテレ2東京
6	023	NHKEテレ3東京
7		
8	041	日テレ1
9	042	日テレ2
10	051	テレビ朝日
11	052	テレビ朝日
12	053	テレビ朝日

受信出来ない局がある場合は再スキャンをして下さい。

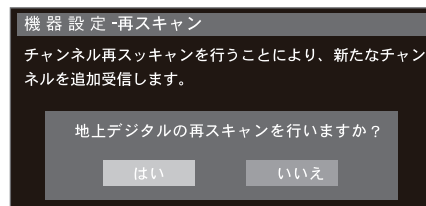
決定 終了 戻る 機器設定

- ※現在受信可能なチャンネルを自動で検索します。
- ※検索後には、リモコンの数字ボタンへ自動でチャンネル（放送波）を割りつけます。
- ※地域設定と違う地域のチャンネルを検索して発見しても、リモコンにチャンネルを割りつけられません。
- ※リモコンボタンの割りつけは、地域設定にて設定した地域内の放送が優先して割りつけられます。地域外の放送を受信する場合には、チャンネル+/-もしくは、EPG（番組表）から選局が可能です。

再スキャン

- ・すでに登録しているチャンネル以外に、新たにチャンネルを追加する場合に使用します。

- 1【左右】ボタンで『はい』を選択し、【決定】ボタンを押します。**



アンテナ設定

- ・受信レベルは信号品質を表します。高画質番組を楽しむためには、十分な受信レベル（目安60%）を確保する必要があります。
- ・チャンネルの受信レベルが低い場合は、アンテナアンプ電源をオンに設定されてください。

- 1【左右】ボタンでアンテナアンプの『オン』を選び、【決定】ボタンを押します。設定後『戻る』ボタンを押して終了します**



- ※アンテナアンプ電源は、工場出荷時の設定はオフです。
- ※受信環境によっては、受信レベルが下がる事があります。

スキップ設定

- ・現在放送していない、または見たくないチャンネルに対してスキップが設定できます。スキップ設定されたチャンネルは▲▼のチャンネルボタンでチャンネル変更時にスキップされます。

- 1【上下】ボタンで番組を選び、【決定】ボタンを押します。Sマークが付きます。もう一度【決定】ボタンを押すと解除できます。設定後『戻る』ボタンを押して終了します。**

リモコン	チャンネル	放送局
S 1	011	NHK総合1・東京 ▲
2	012	NHK総合2・東京
3		
4	021	NHKEテレ1東京
5	022	NHKEテレ2東京
6	023	NHKEテレ3東京
7		
8	041	日テレ1
9	042	日テレ2
10	051	テレビ朝日
11	052	テレビ朝日
12	053	テレビ朝日 ▼

移動 決定 設定/解除 戻る 前画面 青 ページ前 赤 ページ次

- ・チャンネル（+/-）ボタンで順次選局しても、ここで選択した放送局は表示されずにスキップして次の放送局が選局されて視聴できます。

各種設定

準備をする

プリセット設定

- ・自動設定されたチャンネルを手動で1～12の数字ボタンにお好みの放送局（チャンネル）を割り当て設定することができます。

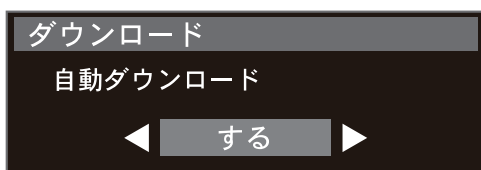
- 1 【上下】ボタンでチャンネルを選び、1～12の数字を選び押します。再び同じ数字を入力すると、設定が解除されます。設定後、【戻る】ボタンを押し終了します。

プリセット設定		
リモコン	チャンネル	放送局
1	011	NHK総合1・東京
2	012	NHK総合2・東京
3		
4	021	NHKEテレ1東京
5	022	NHKEテレ2東京
6	023	NHKEテレ3東京
7		
8	041	日テレ1
9	042	日テレ2
10	051	テレビ朝日
11	052	テレビ朝日
12	053	テレビ朝日

ダウンロード

- ・自動ダウンロードの設定をします。

- 1 【方向】ボタンで『する』あるいは『しない』を選び、【決定】ボタンを押して設定します。



※ダウンロードを行う

- ・本機は、ソフトウェアのアップデートや機能改善などを行うために、地上デジタル放送電波からソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを書き換えることができます。
- ・ダウンロードを実行するために、本機の電源プラグをACコンセントに接続してください。
- ・ダウンロードをするための受信レベルの目安は60%以上必要です（受信レベル確認方法は11ページをご参照ください）。
- ・ダウンロードは本機の電源オフ（待機）状態のみで実行されます。
- ・ダウンロードが実施される前にメッセージが表示されます。

ID表示

本体のID情報を表示します。

ID表示	
ソフト名	JR0010458210-035
リビジョン	66904.035

※現在の本機ソフトウェア情報を確認することができます。通常使用しているときは確認をする必要はありません。

B-CASカード情報

- ・B-CASカードの情報を表示します。
- ・本機からB-CASカードを取り外さなくても、リモコン操作によってカード番号が確認できます。

- 1 リモコンの【メニュー】ボタンを押し、設定メニューを表示します。【上下】ボタンで『各種設定』を選び、【決定】ボタンを押します。

設定メニュー	
映像設定	>
音声設定	>
機能設定	>
各種設定	>

- 2 各種設定の表示画面で『B-CASカード情報』を【上下】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。

各種設定	
かんたん設定	>
個人情報	>
機器設定	>
B-CASカード情報	>
工場出荷時リセット	>

- 3 B-CASカード情報を表示します。

B-CASカード情報	
カード種別	M002
カードID	0000 3210 0615 3976 4954
グループID	グループIDが設定されていません。

B-CASカードが正しく挿入されていない場合

※miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒P 6
「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。

B-CAS カードを
正しく装着してください。

工場出荷時リセット

- ・「工場出荷時リセット」とは、実行することでデジタル設定にて設定した項目や各値（チャンネル設定など）をお買い上げ時の設定（工場出荷状態）に戻すことができます。初期化、初期状態と記載することもあります。

- 1 リモコンの【メニュー】ボタンを押し、設定メニューを表示します。【上下】ボタンで各種設定を選び、【決定】ボタンを押します。

設定メニュー	
映像設定	>
音声設定	>
機能設定	>
各種設定	>

- 2 各種設定の表示画面で『工場出荷時リセット』を【上下】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します。

各種設定	
かんたん設定	>
個人情報	>
機器設定	>
B-CASカード情報	>
工場出荷時リセット	>

- 3 『はい』を【左右】ボタンで選び、【決定】ボタンを押します

工場出荷時リセット	
はい	いいえ

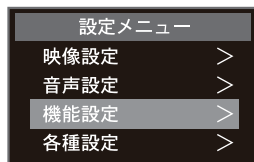
準備をする

ネットワークを設定する

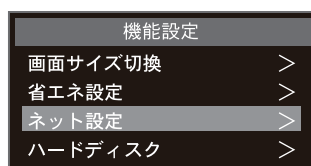
有線LANの設定

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送がご利用できます。

- 1 【メニュー】ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。『機能設定』を選び、【決定】ボタンを押します。



- 2 『ネット設定』を選び、【決定】ボタンを押します。



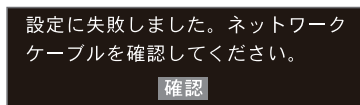
- 3 ネット設定の表示画面で『有線LAN』を選び、【決定】ボタンを押します。



- 4 有線LANの設定方法の表示画面で『IPアドレス自動取得』の『自動取得』を【左右】ボタンで選びます。『接続』を選び、【決定】ボタンを押します。



- 5 しばらくすると接続成功が表示されます。【決定】ボタンを押して設定終了です。



※設定に失敗しました。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。7ページをご参照ください。

- IPアドレスの自動取得ができない場合、手動入力で設定します。

【方向】ボタンでIPアドレスを選び、【数字】ボタンで番号を入力します。そのほかの項目も同じように、【数字】ボタンで番号を入力します。入力したら【方向】ボタンで接続を選び、【決定】ボタンを押して設定を終了します。



IPアドレス設定

- インターネットに接続する為、本機に自動的に割り当てられる番号を設定します。

※「IPアドレス自動取得」で「しない」を設定した場合、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」も自動的に「しない」に設定されてしまいます。その場合、DNSアドレスを手動で設定してください。

DNS設定

- ドメイン名を自動的にIPアドレスに置き換え、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス自動取得」で「しない」を設定した場合、「DNSアドレス自動取得」も自動的に「しない」に設定され、「する」に変更することは出来ません。その場合、DNSアドレスを手動で設定してください。

MACアドレス

- ネットワークに接続されている機器を識別する為の番号です。
●MACアドレスの確認が終わったら、終了ボタンを押してメニュー画面を終了してください。

ネット情報表示

現在使用のネット情報を表示します。



テレビ番組を楽しむ

テレビの視聴と設定

電源を入れます。



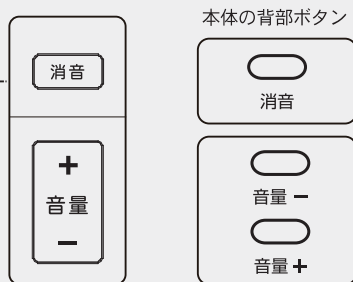
- * 本体前面にある電源ランプが赤く点灯していることを確認してから電源ボタンを押してください。
- * 内部処理を行っているため、画面表示するまで若干時間がかかる場合があります。

チャンネルを変更します。



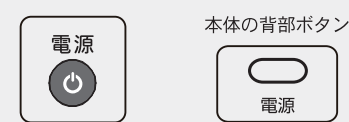
- * チャンネル設定方法は、8 ページをご参照ください。
- * 3 桁入力での選局設定方法は、1 4 ページをご参照ください。

音量を調節します/消音



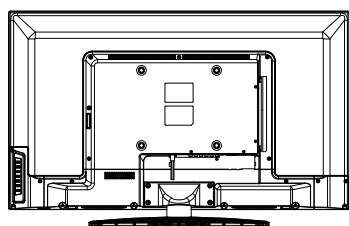
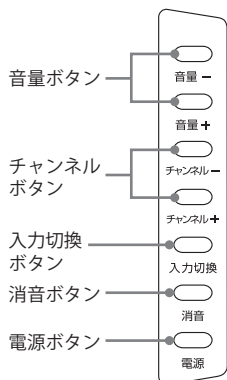
- * 音量は 0 ～ 50 の範囲で調節できます。
- * 【消音】ボタンを押すと、音声を一時的に消しておくことができます。再度【消音】ボタンを押す、または音量調節ボタンを押すと音声が増えるようになります。

電源を切ります。



- * 長期間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体の背部ボタン



3 桁入力での選局

- ・【3 桁入力】ボタンを押し、数字ボタンでチャンネルを選び、【決定】を押すと、直接チャンネルを選局できます。

例: チャンネル「0 2 3」を選ぶとき

地デジ — — — . 枝番

例) チャンネルの「0 2 3」を選局するとき数字ボタン【1 0 / 0】→【2】→【3】を順に押す。

- ボタンは 3 秒以内に次のボタンを押してください。

※デジタル放送では 3 ケタのチャンネル番号と枝番がある番組があります。必要に応じて枝番に (0 ～ 9) を入力してください。

入力切換/地デジ

- ・リモコンの【入力切換】ボタンを押すたびに外部入力切り換わります。
- ・リモコンの【地デジ】ボタンを押すと、地デジの放送を視聴することができます。



- ・リモコンの【入力切換】ボタンを押して入力切換の一覧(リスト)を画面に表示させます。

- リモコンの入力切換ボタンを押すと、下記の順で切り換わります。

地デジ 012 → ビデオ → HDMI 1 → HDMI 2

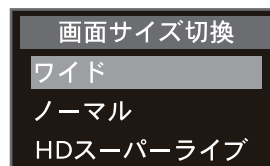
※切り換えたい入力を選択後に【決定】ボタンを押します。
※入力切換ボタンを押し「入力切換」の一覧を表示させると、方向ボタンの▲▼ボタンでも切り換えることができます。

画面サイズ

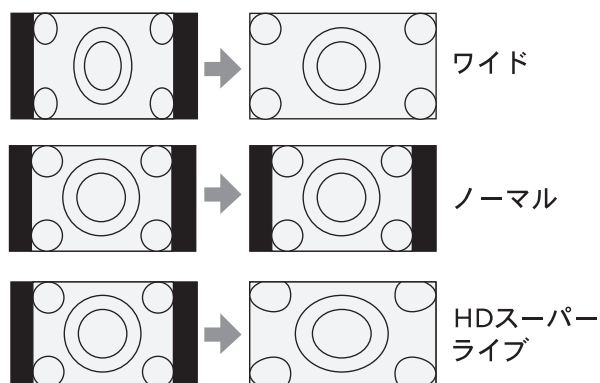
- ・リモコンの【画面サイズ】ボタンを押すたびに下図のように画面サイズが切り換わります。

ワイド → ノーマル → HDスーパーライブ

- または設定メニューから『機能設定』『画面サイズ』の設定を切り換えることができます。



画面サイズに切り換える

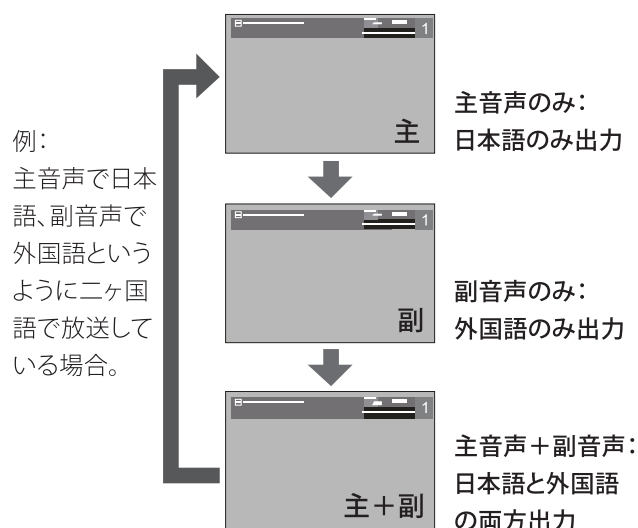


※お好みの画面サイズに切り換えることができます、外部入力の画面に合わせて切り換えてください。

音声切換

・リモコンの【音声切換】ボタンを押すたびに音声を切り換えることができます。

- ・音声多重放送を行っている時に切り換えることができます。
- ・音声多重放送には二重やマルチ音声などがありますが、放送内容によっては表示が異なることがあります、下図と異なることがあります。



放送音声	音声表示内容
音声多重	主
	副
	主+副
ステレオ	ステレオ
モノラル	モノラル

※ステレオやモノラルで放送されている場合には音声を切り換えられない場合があります。

字幕

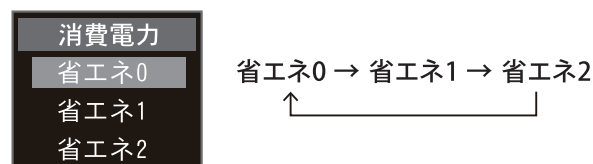
・リモコンの【字幕】ボタンを押すたびに切り換わります。



※字幕放送時のみ表示されます。
 ※外部入力（DVDプレーヤー等）の字幕切換はできません。
 ※設定時には「第1言語」「第2言語」と表示していますが、実際の画面表示と異なることがあります。

省エネ

・リモコンの【省エネ】ボタンを押す、またはメニューから「機能設定」「省エネ設定」「消費電力」の設定を切り換えることで消費電力を約5～10%抑えることができます。



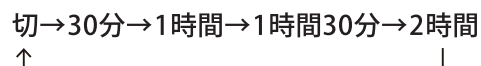
※消費電力抑制率 省エネ1：5% 省エネ2：約10%。
 ※省エネを設定すると画面が暗くなったり音声が悪くなることがあります。気になる方は「省エネ0」（オフ）に設定してください。

オフタイマー

・リモコンの【オフタイマー】ボタンを押す、設定を切り換えることで設定した時間経過後に電源を切る（待機状態にする）ことができます。

オフタイマー：残り 1時間

●リモコンの【オフタイマー】ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。



・再度オフタイマーを押すことで再設定ができます。

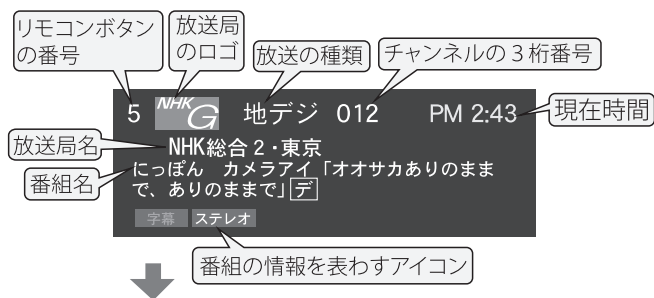
テレビの視聴と設定

テレビ番組を楽しむ

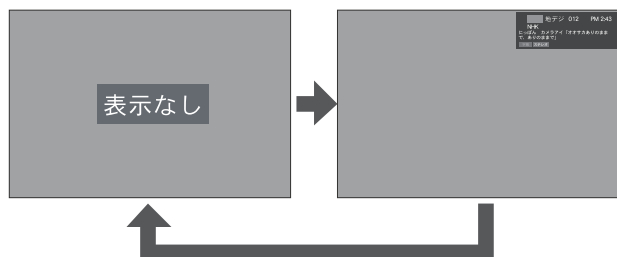
画面表示

- ・視聴中にリモコンの【画面表示】ボタンを押すと、画面にチャンネル情報等が表示されます。

●地デジ視聴中は下図の情報が表示されます。



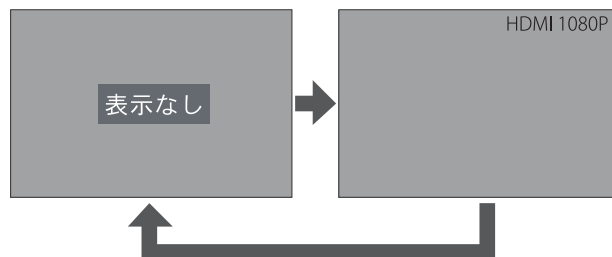
選局時には一部省略された状態で表示されます。



画面表示を押すたびに切り換わります。

- ・入力切替時は外部入力の名前を表示します。

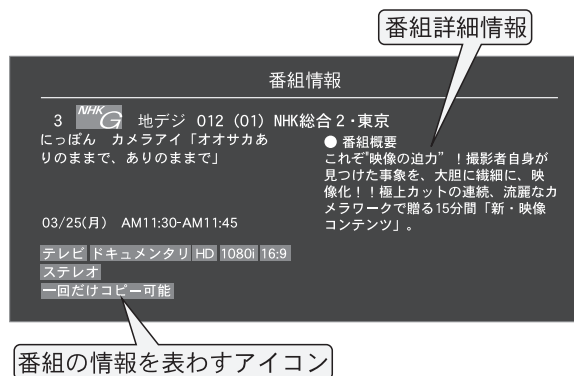
例:「HDMI」入力



画面表示を押すたびに切り換わります。

番組情報

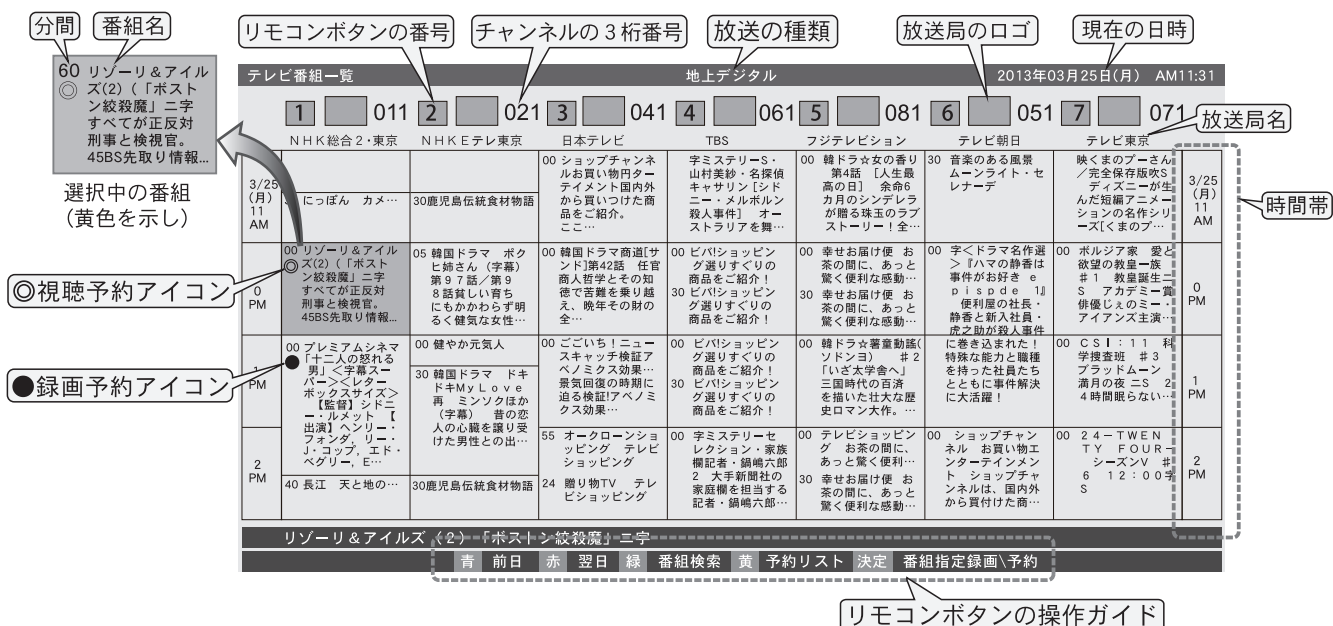
- ・リモコンの【番組情報】ボタンを押すと、番組詳細情報が表示されます。もう一度ボタンを押すか、【戻る】ボタンを押すと表示が消えます。



番組表を使う

⇒デジタル放送を視聴中にリモコンの【番組表】ボタンを押すと、番組表が表示されます。

⇒【方向】ボタンで番組を選択できます。



※番組表表示：画面上に7CH X 4時間、約7日分表示します。

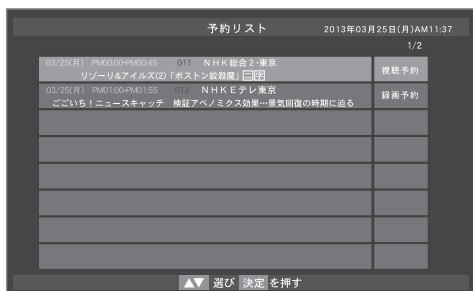
番組表を使う

リモコンの操作ガイド

- ・リモコンのカラーボタンと現在番組表の画面でできる操作の対応を示します。



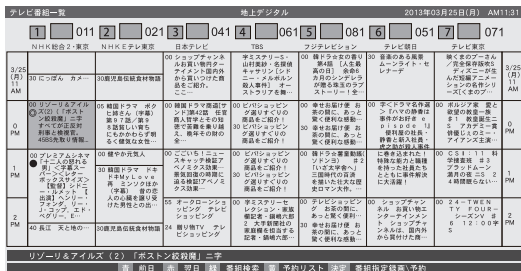
- 青** 前日の番組表を表示します。
- 赤** 翌日の番組表を表示します。
- 緑** 番組検索ができます。
- 黄** 録画・視聴予約リストを表示することができます。



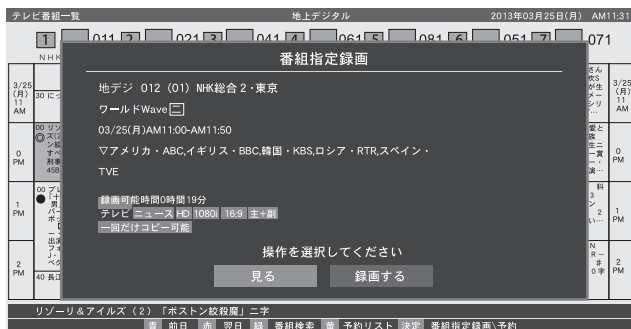
予約リスト画面が表示されます。

現在放送中番組を見る

- 1 【番組表】ボタンを押して番組表を表示します。【方向】ボタンで放送中の番組を選び、【決定】ボタンを押してください。



- 2 「番組指定録画」の画面を表示し、【方向】ボタン「見る」を選び【決定】ボタンを押してください。

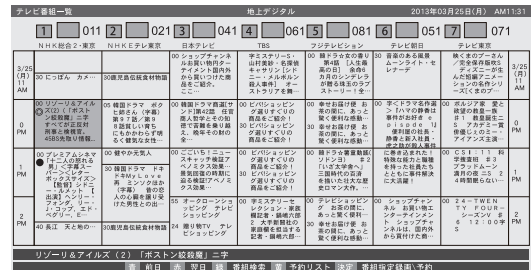


テレビ番組を楽しむ

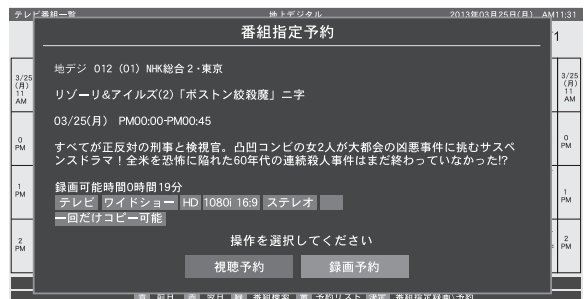
視聴予約

- ・番組表で視聴予約に設定した番組に自動で切り換えます。

- 1 【番組表】ボタンを押して番組表を表示します。【方向】ボタンで番組を選び、【決定】ボタンを押します。

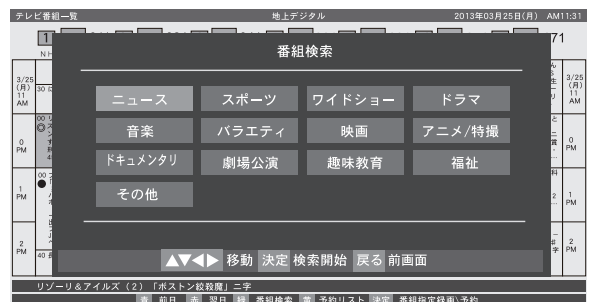


- 2 「番組指定予約」画面を表示し、【左右】ボタンで『視聴予約』を選び、【決定】ボタンを押します。予約の完了です。



番組検索

- 1 【番組表】ボタンを押して番組表を表示します。「番組表」の画面で【緑】ボタンを押すと番組検索が表示されます。



- 2 項目を選び、【決定】ボタンを押すと検索結果リストが表示されます。



※検索結果リストで番組を見るを選択して【決定】ボタンを押すと番組指定予約画面が表示されます。

テレビ番組を楽しむ

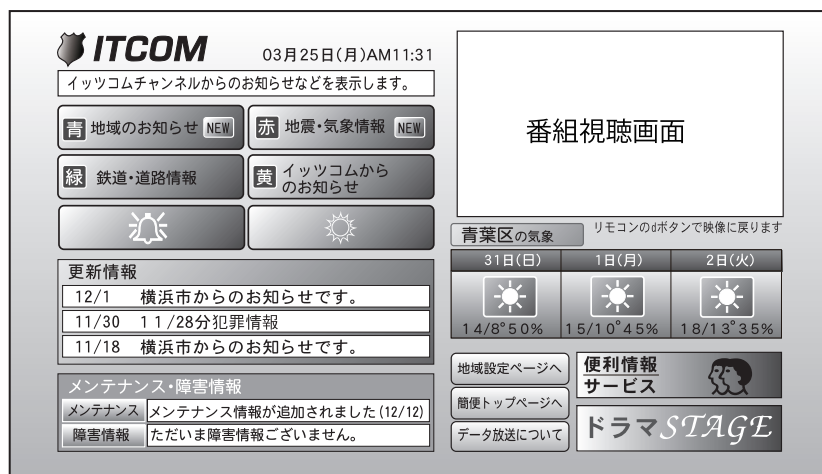
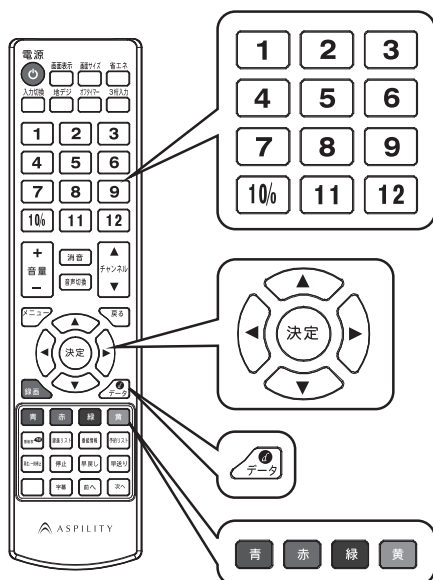
データ放送を楽しむ

デジタル放送の番組視聴中に【dデータ】ボタンを押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。

⇒リモコンの【方向】ボタンと【決定】ボタンで操作することができます。

⇒リモコンのカラーボタン【青、赤、緑、黄】で、データ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。画面に表示された色と同じリモコンのカラーボタンで選択します。

⇒各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ違いますので、画面に表示されている操作方法を読んでから操作してください。



※番組表の表示中にデータ放送ボタンを押すと【操作禁止】が表示されます。番組表を消してから、操作を行ってください。

データ放送について

- デジタル放送ではテレビ放送以外にデータ放送の機能があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組関連のデータや、番組案内、天気予報、ニュースなどの放送があります。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することが出来ます。
- テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュース等のデータ放送を提供している場合があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。(本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

お知らせ

双方向サービスについて

- 双方向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- 双方向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、ご利用者の個人情報の入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合がありますので、ご注意ください。
- 双方向サービスをご利用時、通信がすぐにできず、次の操作まで時間がかかることがあります。
- テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスで、お客様のポイント等情報が更新できないことがあります。

録画・予約/再生の操作方法

録画の制限事項

- ・本機は「シングルチューナー」を搭載しています。現在視聴している番組とは違う番組を録画することはできません。
- ・予約：最大16番組の録画予約が可能です。
- ・1つのハードディスク(HDD)には約500件の録画が可能です。
- ・録画時間の目安(例) 500GBのHDD 地デジ：約53時間。
※番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。
- ・本製品で利用できるHDDの容量は3TBまでです。
※データ転送方式が2013年現在の規格から変更されたHDDでは使用できない場合があります。
- ・何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。「メール表示」へ録画関連のエラーの詳細(最大14件まで保存)も届きますのでご確認ください。
- ・ビデオやHDMIなど外部入力映像などを記録することができません。テレビ放送の録画のみ可能です。
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどで使用や視聴はできません。
- ・録画中には、すでに録画した番組を再生することはできません。
- ・番組表は約7日後まで取得できます。これ以上先の録画予約はできません。
- ・同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- ・本機へ接続して使用するUSBで接続するハードディスク(HDD)に録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権保護のため本機で録画した番組(以下録画データ)は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴することができます。同機種でも視聴できません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - 録画した番組をメールなどで他人へ送る。
 - 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

ハードディスク (HDD)

- ・本製品で利用できるハードディスク(HDD)は、DVDディスク等と違い半永久的に使用/保存できる記録メディアではありません。
- ・録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応・レコーダー等の使用をお勧めします。
- ・物理的な衝撃(落下、重量物を本製品にぶつけるなど)を与えないでください。
- ・テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
- ・分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。
- ・電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- ・高温になる場所(自動車内、直射日光の当たる窓際など)で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、風通しの良い場所へ設置してお使いください。

録画・予約/再生の操作方法

USBハードディスクについて

- ・USBにて接続するハードディスクを本製品ではじめてご使用になる場合は、本機へ接続して初期化を行ってから使用してください。※パソコンなどのデータがある場合は消去されてしまうのでご注意ください。
- ・はじめて使用するハードディスクの場合、正しく初期化が行われない場合があります。その際は、もう一度初期化を行ってください。
- ・ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・本機へ接続してからハードディスクを認識するまで最大1分ほど時間が掛かる場合があります。
- ・本機で使用したハードディスクは、本機でのみ再生・録画ができます。
- ・本機で使用したハードディスクを本機以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
- ・本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、下記にある初期化を行ってください。
- ・電源供給型のハードディスク（標準規格USB 2.0）を使用してください。
- ・USBフラッシュメモリやカードリーダーを使用したメモリーカードなどは使用できません。
- ・Flash-S-D（ソリッドステートドライブ）は使用できません。
- ・バスパワータイプのポータブルハードディスク（USB端子だけ付いているもの）は使用できません。
- ・ハードディスクを使用中（アクセス中）に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる事がありますのでご注意ください。
- ・ハードディスクを取り外す場合にはメニューから「取り外し」を選択してから接続USB端子を抜いてください。
- ・USBハブなどを使用しないでください。複数台のハードディスクを接続しての使用はできません。
- ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多量ズレる場合がありますのでご了承ください。
- ・USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質な物をお使いください。

ハードディスクの初期化

1 ハードディスクのUSBケーブルを本製品の背面端子部分にあるUSB端子へ接続します。接続後にハードディスクの電源が入っていることを確認してください。

2 リモコンの【メニュー】ボタンを押して『機能設定』を選択し、【決定】ボタンを押します。

設定メニュー	
映像設定	>
音声設定	>
機能設定	>
各種設定	>

3 『機能設定』内の『ハードディスク』を選んで【決定】ボタンを押します。

機能設定	
画面サイズ切換	>
省エネ設定	>
ネット設定	>
ハードディスク	>

4 『ハードディスク』の選択画面で『初期化』を選択し【決定】ボタンを押します。『はい』を選択して【決定】ボタンを押します。

ハードディスク	
情報表示	>
ディスク取り外し	>
初期化	>

ディスクを初期化しますか？

はい いいえ

ハードディスク初期化中

※「ハードディスク初期化中」の表示の点滅は初期化中ですので電源を切らないでください。初期化に失敗する恐れがあります。

5 右図が出ると初期化は成功です。【決定】を押して終了してください。

初期化成功

確認

ディスクを取り外し

1 『ハードディスク』内の『ディスクを取り外し』を選んで【決定】ボタンを押します。

ハードディスク	
情報表示	>
ディスク取り外し	>
初期化	>

2 【方向】ボタンで『取り外し』を選び、【決定】ボタンを押してください。

ディスクを取り外します。

取り外し やめる

3 【決定】ボタンを押します。

ディスクを取り外しました。

確認

※ディスクを取り外す際には、保存されているデータが消えないようにメッセージをよく確認してからUSB端子から取り外してください。

ハードディスク情報表示

1 【方向】ボタンで『情報表示』を選び、【決定】ボタンを押すとハードディスクの情報表示します。

情報表示	
ディスク名	External USB 3.0
ディスク容量	465.58 GB
使用領域	35.42 GB
動作中	← 状態を示し

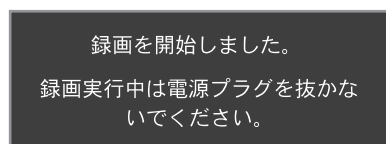
ハードディスク	
情報表示	切断
ディスク取り外し	切断
初期化	切断

※HDDが接続されていない、または認識されていないときは画面表示されません。

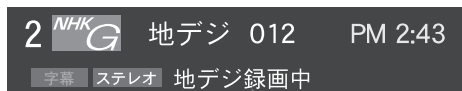
見ている番組を直接録画

《視聴中の番組を録画する》

地上デジタル放送の中から録画したい番組を選局してリモコンの【録画】ボタンを押します。



※下記番組情報の画面メッセージが表示されます。

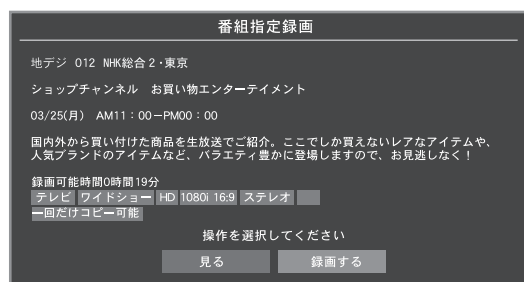


録画中表示

※【画面表示】ボタンを押すと表示が消えます。
※電源ランプが橙点灯している時は、録画中です。

《番組表から番組を選択して録画する》

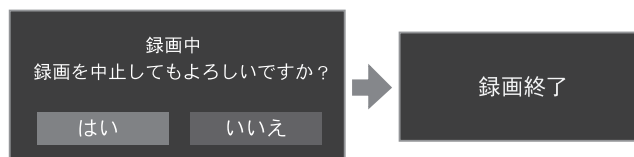
- 1 リモコンの【番組表】ボタンを押し、番組表を表示させる。
- 2 リモコンの【決定】ボタンを押すと番組指定録画の画面が表示されます。『録画する』を選択し、【決定】ボタンを押すと、現時刻から録画を開始します。



※カーソルのある番組（選択中の番組）は「黄色」で表示されます。

《録画停止》

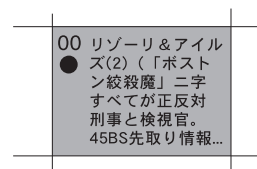
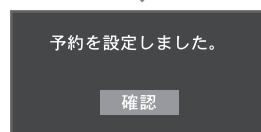
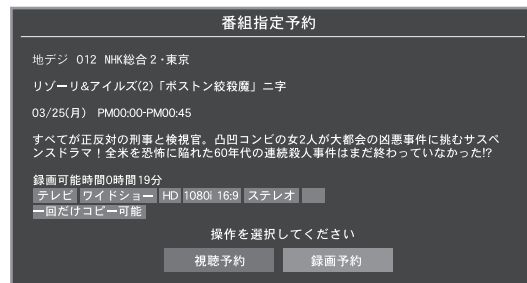
録画中にリモコンの【停止】ボタンを押すと録画停止メッセージが表示されます。『はい』を選択し、【決定】ボタンを押すと、その時点までの録画がハードディスクに保存されます。



※録画中はコンセントを抜かないでください。録画に失敗し、録画したい番組の録画が消えてしまいます。また既に録画した部分の保存も出来なくなります。
※録画中はHDDの接続ケーブルを抜かないでください。録画に失敗し、録画したい番組の録画が消えてしまいます。また、既に録画した部分の保存も出来なくなります。
※録画中は数字ボタン、3ケタの数字入力及び上下ボタンでのチャンネルの切替など、他のチャンネルの番組が視聴出来ません。

録画予約

リモコンの【番組表】ボタンを押して、録画したい番組を番組表から選びます。【決定】ボタンを押すと《番組指定予約》の画面が表示されます、『録画予約』を選択し、【決定】ボタンを押すと、予約を設定しました。

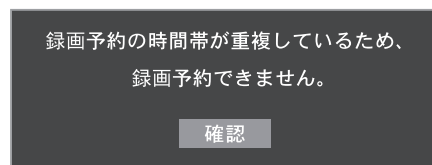


※番組表画面にメッセージが表示されます。
リモコンの【決定】ボタンを押すと番組表の画面に戻り、予約録画のアイコンが番組表に表示されます。

※カーソルのある番組（選択中の番組）は「黄色」で表示されます。

※録画予約された番組は、番組枠内に赤丸を表示します。
※視聴予約された番組は、番組枠内に二重丸を表示します。
※無操作時には約5分間でテレビ視聴画面に戻ります。

録画予約ができない場合



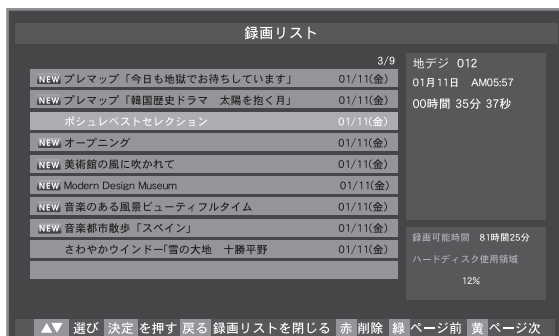
下記の場合には予約録画ができません。

- 予約時間が重複している場合。
- 録画時間がハードディスクの容量を超える場合。
- 短い番組（約1～3分以下の番組）
- 受信レベルが低下している場合。
- 番組が延長した場合。
- 予約開始時に録画設定した記録ハードディスクが接続されていない場合。
- テレビ本体の主電源が切れている場合。

録画・予約/再生の操作方法

録画した番組を見る

- リモコンの【録画リスト】ボタンを押します。録画リストで録画した番組を選びます。【再生】または【決定】ボタンを押すと再生がはじまります。



- 未再生の番組は **NEW** で表示されます。
- 再生が始まったとき、右下に が表示されます。

※下記番組情報の画面メッセージが表示されます。



- 【画面表示】ボタンを押すと表示が消えます。

※録画番組の再生は初めからのみになります。
※録画中は録画してある番組を再生することはできません。
※再生中は「各種設定」メニューの操作はできません。
※再生中は番組表など一部の操作をすることができません。
※録画中はビデオやHDMIなど外部入力への切替はできません。
※録画中は録画リストを表示することができません。また、HDDに録画された番組を視聴することはできません。

再生時のリモコン操作

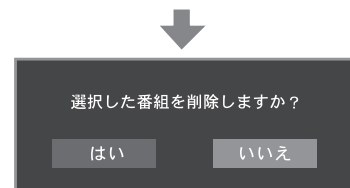
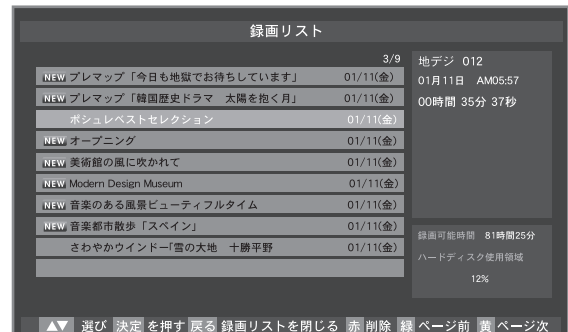
下記の各操作ができます。

	再生中に一時停止と再生を切り換えます。早戻し/早送り状態から通常再生に戻ります。
	再生を停止します。録画リストに戻ります。
	押すたびにX2→X4→X8→X16倍速で早戻し再生ができます。
	押すたびにX2→X4→X8→X16倍速で早送り再生ができます。
	前の録画データを再生します。
	次の録画データを再生します。

※早戻し早送り中に音声は再生されません。
※再生中に番組先頭まで巻戻すと再生再開されます。
※再生中に番組を最後まで早送りすると「録画リスト」の画面に戻ります。
※再生中に停止ボタンまたは番組を最後まで再生すると「録画リスト」の画面に戻ります。
※「録画リスト」画面から通常のテレビ視聴画面に戻る場合には【戻る】ボタンを押してください。

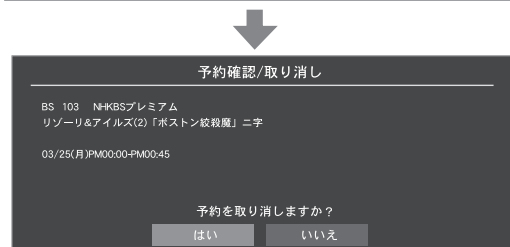
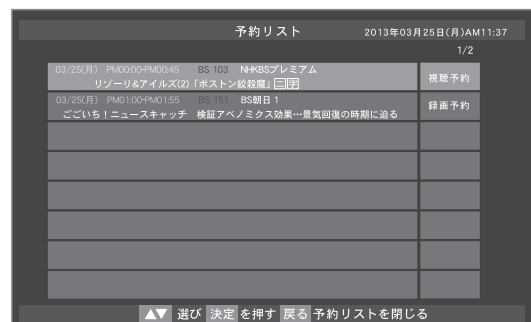
録画リストの確認と削除

- リモコンの【録画リスト】ボタンを押して、録画リストで削除したい番組を選びます。リモコンの【赤】ボタンを押します。『はい』を選んで【決定】ボタンを押します。選択した番組の削除が完了しました。



予約リストの確認と削除

- リモコンの【予約リスト】ボタンを押します。予約リストで取り消したい番組を選択して【決定】ボタンを押します。『はい』を選択して【決定】ボタンを押します。



※番組表からでも削除することができます。

テレビ各種の設定

各種の設定

【メニュー】ボタンを押すとメインメニューが表示されます。ここから各種設定を変更することができます。

メインメニュー	設定項目	設定詳細	説明
映像設定 ※映像設定については、各入力切替ごとの設定になります	映像モード	[設定項目]標準、映画、画像、ゲーム、スポーツ、ユーザー	映像モードを切り換えます。
	コントラスト	[設定範囲]: 0～100	コントラストを0(暗い)～100(明るい)の範囲で調節します。
	明るさ	[設定範囲]: 0～100	明るさを0(暗い)～100(明るい)の範囲で調節します。
	色の濃さ	[設定範囲]: 0～100	色の濃さを0(淡)～100(濃)の範囲で調節します。
	色あい	[設定範囲]: 0～100	色合いを0(緑)～100(紫)の範囲で調節します。
	シャープネス	[設定範囲]: 0～100	シャープネスを0(ソフト)～100(シャープ)の範囲で調節します。
	初期設定に戻す	映像調節内の変更した項目を工場出荷時の状態(初期状態設定)に戻します	
音声設定 ※音声設定は入力を切り換えても共通設定になります。	バランス	[設定範囲]: 左25～右25	左右スピーカーから出力される音声の割合を調節できます。
	高音	[設定範囲]: -6～+6	高音を調節します。
	低音	[設定範囲]: -6～+6	低音を調節します。
	初期設定に戻す	音声設定内の変更した項目を工場出荷時の状態(初期状態設定)に戻します。	
機能設定	画面サイズ切替	[設定項目]ワイド、ノーマル、HDスーパーライブ。	14ページをご参照ください。
	省エネ設定	[設定項目]消費電力、オンエアー無信号オフ、外部入力無信号オフ。	消費電力: バックライトを省エネ0(明)～省エネ2(暗)に設定することで消費電力を約5～10%低減することができます。 オンエアー無信号オフ: 5分、10分、15分、30分、動作しない。 外部入力無信号オフ: 5分、10分、15分、30分、動作しない。
	ネット設定	[設定項目]ネット情報表示、有線LAN。	13ページをご参照ください。
	ハードディスク	[設定項目]情報表示、ディスク取り外し、初期化。	20ページをご参照ください。
各種設定	[設定項目]かんたん設定、個人情報、機器設定 B-CASカード情報、工場出荷時リセット。		9～12ページをご参照ください。

録画予約エラーメッセージについて

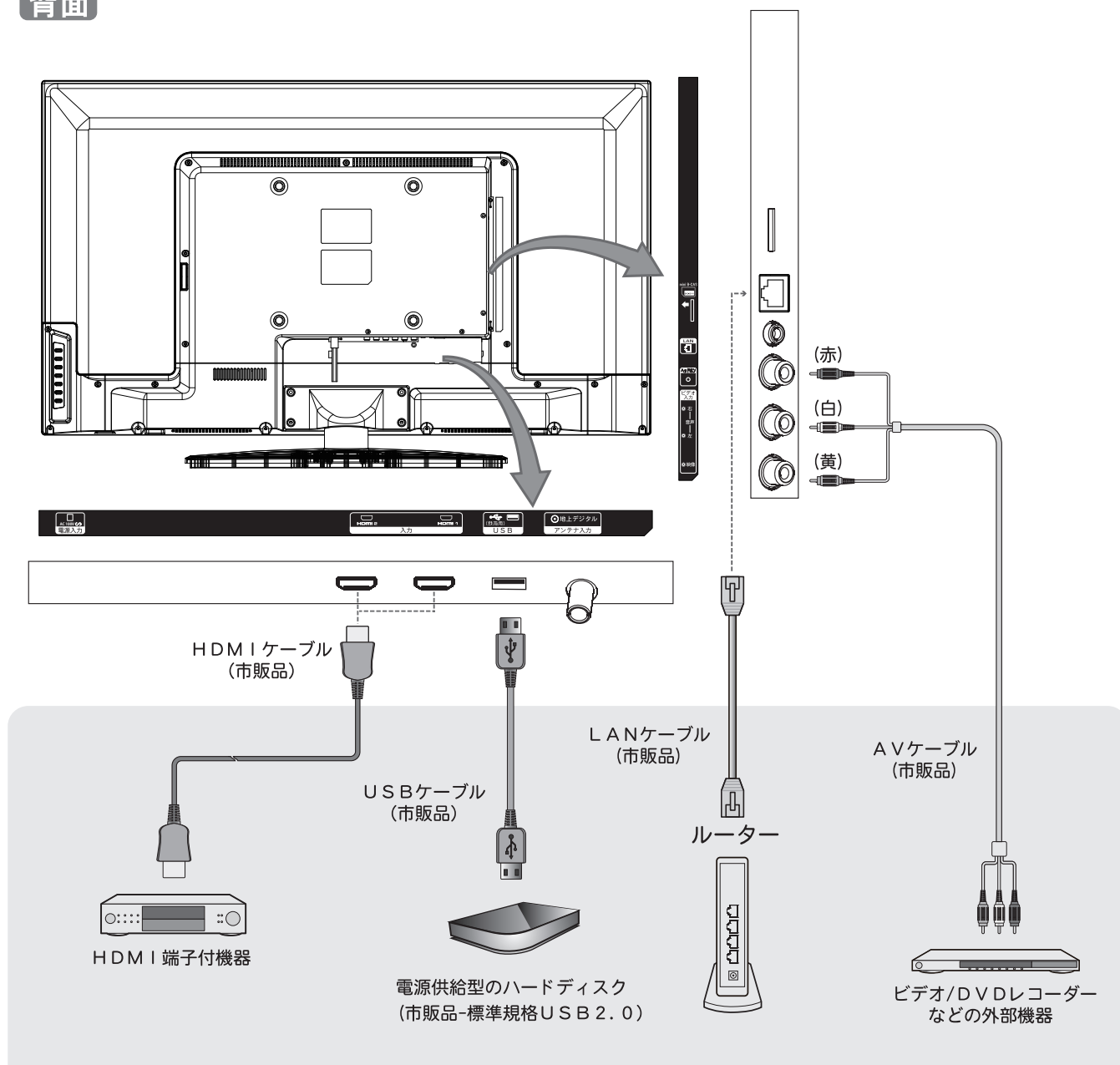
メール表示での録画関連のエラーのメッセージ。

エラー	メッセージ
録画予約中止	システムエラーにより、録画予約の登録に失敗しました。
録画予約中止	システムエラーにより、予約番組の視聴が開始出来ませんでした。
録画予約中止	録画予約チャンネルの選局に失敗しました。
	予約したチャンネルの受信状態が悪い可能性があります。
	受信状態を確認して下さい。
録画予約中止	システムエラーにより、電源が入りませんでした。
録画予約解除 (番組情報取得不可)	予約番組情報(番組開始時間、番組放送時間)が取得出来ないため、録画予約を解除しました。
録画予約解除 (選局拒否)	録画開始時に「選局しない」を選択したため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(選局)	予約番組視聴中にチャンネル操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除 (開始時刻変更失敗)	番組開始時刻が変更されましたが、追従出来ませんでした。 変更された時刻に別の録画予約が設定されている可能性があります。
録画予約解除 (予約番組終了)	主電源が切れている間に録画予約番組の放送が終了したため、録画予約を解除しました。
録画予約中止	録画予約チャンネルの選局を拒否しました。 録画予約開始時に機器設定(スキャン、アンテナ設定)を行っていた可能性があります。
録画予約中止 (ハードディスク異常)	録画指定のハードディスク登録に失敗しました。 ハードディスクが使用可能なプラグで確認してください。

外部機器と接続する

接続のしかた

背面



接続について

ビデオ（AVケーブル）で接続する

■対応している画像の大きさなど（レゾリューション）は「480i」です。合わないものについては視聴できないことがあります。

HDMIケーブルで接続する

- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
- HDMI機器との相性により音声がでない場合があります。
- 当製品のHDMIバージョンは「1.3」です。機器間のリンク機能には対応しておりません。

USBハードディスクを接続する

- P19「録画の制限事項」P20「USBハードディスクについて」をよくお読みになってから接続使用してください。
- 「新しいハードディスクが接続されました」と表示されましたら、デジタル設定から各設定を行ってください。
- 取り外す場合には、必ず「設定メニュー」内にある『機能設定」ハードディスク」ディスク取り外し』を実行してから取り外してください。

故障かな？！と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。本機において、ゲーム機などからの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。あらかじめご了承ください。

このようなときは		ここをお調べください
電源	電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・内部処理を行っているために操作への反応が遅い場合があります。 ⇒約1分ほどお待ちになってから再度電源を入れてください。
	急に電源が切れた	・省エネ設定の「外部入力信号オフ」「無操作電源自動オフ」が動作するになっていませんか？ ・オフタイマーが設定されていませんか？ ⇒再度電源を入れ、同じ症状が起こらないか確認してください。
リモコン	リモコンで操作できない	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ・乾電池のプラス／マイナスが逆になっていませんか？ ・テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ ・テレビのリモコン受光部に強い照明や直射日光が当たっていませんか？ ・リモコンとテレビの間に遮蔽物はありませんか？ある場合は取り除いてください。
	チャンネル▲▼ボタンで特定のチャンネルだけ選局できない	・スキップ設定をしていませんか？ ⇒設定内にある「各種設定」→「機器設定」→「スキップ設定」からスキップ設定を解除してください。 ・編成チャンネルを視聴している可能性があります。 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	・アンテナ線が外れていませんか？ ・接続されていない入力先などに切り換えられていませんか？ ・外部機器の接続ケーブルが外れていませんか？ ・P8「かんたん設定」を実行してください。
	映像は出るが、音声が出ない	・消音状態になっていませんか？ 音量が0になっていませんか？ ・ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていませんか？ ・HDMIケーブルなどを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなければならない場合があります。
	ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音声が出ない	・音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか？ ・音声端子がしっかりと挿入されているか確認してください。
	音声に異音が入ったり映像にノイズが出る	・本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ ⇒携帯電話などを離してお使いください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？（受信レベルを確認）
	映像が悪い	・アンテナ接続コネクターが外れていませんか？ ・アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか？ ・アンテナが風で壊れたり、曲がったり、向きがずれたりしていませんか？ ・近くで落雷や電波障害などが起きていませんか？ ・1本のアンテナ線を複数のテレビやレコーダーに接続していませんか？ ・近くで電磁波を出す家電製品を使用していませんか？ ・映像を正しく調整されていますか？ ・チャンネルは正しく設定されていますか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？

その他

故障かな？！と思ったら

このようなときは		ここをお調べください
テレビを見ているとき	映像が悪い	・編成チャンネルを視聴している場合があります。 チャンネルボタンを数回押す、または他チャンネルへ切り換えてください。 ・地域設定を正しく設定していますか？ お住まいの地域によっては、該当する地域よりも近隣の地域へ変更することで視聴できる場合がありますのでお試しください。 ・チャンネルが変更されていませんか？ 製品出荷時以降にチャンネルが変更されている（放送局や中継局が増設される等）場合には、チャンネルの再設定が必要な場合があります。
	色縞模様が出ない 色が消えない 縦線状の妨害が見えない	・アンテナやアンテナ端子への妨害電波の影響が考えられます。 ⇒地上波放送のアンテナ線の接続には、同軸ケーブル（市販品）をお使いください。 ⇒アンテナの高さや向きを調整すれば、妨害電波をある程度少なくできます。 ・外部機器からの入力映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。
	色がうすい 色合いが悪い	・地上アナログ放送時に放送されていた番組などの再放送を視聴する場合には、画像が著しく悪く見えることがあります。製品に問題はありません。 ・映像設定は正しく調整されていますか？ ・チャンネルは正しく設定されていますか？ ・各映像端子の接続は確実ですか？
	画面が暗い	・省エネモードが「1」や「2」に設定されていませんか？ 省エネモードを「0」に設定すると明るくなります。 ・映像モードが変更されていませんか？ ・映像の調整は正しいですか？ ・映画を視聴する時には暗い画面が見えにくくなることがあります。
	デジタル放送が映らない	・mini B-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒mini B-CASカードを正しく挿入しないと、地上デジタル放送は視聴できません。 ・mini B-CASカードのIC部分が接触不良（埃、塵、結露、サビ）の場合には何度か挿入し直すと視聴できる場合があります。カードが折れたり、曲げたり、欠けたりすると使用できなくなりますので、丁寧に扱ってください。 ・デジタル設定内のmini B-CAS情報にエラーが表示された場合は、P 6 に記載してある[※]ビーエスコンディショナルアクセスシステムズへ問い合わせください。
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域は、地上デジタル放送の対象エリアですか？ ・UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信施設に向けられていますか？ ・地上デジタル放送の有効な放送局/中継局がアナログ放送時から変更されてる場合があります。 ・お住まいの地域の放送局/中継局を確認してください。 ・チャンネルが変更がされた可能性があります。 ・再度「地デジ自動設定」（チャンネルスキャン）を行ってください。 ・地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？

その他の情報

■お知らせメールについて

放送局からのお知らせやソフトウェアの更新情報などがあった場合には放送メールでお知らせします。確認するにはP10「メインメニュー」→「各種設定」→「個人情報」→「メール表示」で確認します。

■カードエラーについて

本製品はminiB-CASカードを挿入して使用します。miniB-CASカード関連のエラーメッセージが表示されたときは、以下を確認してください。

- ・miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒P6「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。
- ・カードスロットにホコリがたまっていますか？
⇒市販のエアダスターなどを使用して、miniB-CASカードスロットを清掃してください。
- ・miniB-CASカードでないカードを挿入していませんか？ ⇒miniB-CASカードを挿入してください。

■EWS（緊急警報放送）について

地上デジタル放送を視聴中にEWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は【戻る】ボタンを押してください。

EWS（緊急警報放送）とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。

人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限り放送されます。

- 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。
- 2) 津波警報が発せられた場合。
- 3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。

本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応しておりません。

■ダウンロードについて

- ・本機はソフトウェアのアップデートや機能改善を行う必要がある場合には、**地上デジタル**放送電波からプログラムをダウンロードしてソフトウェアを書き換えます。
- ・メッセージがテレビ画面に表示されましたら、ダウンロードを実行するために電源を接続して待機状態にしてください。
- ・ダウンロードを実行するための受信レベルの目安は60%以上です。
- ・ダウンロードは、本機が電源オフ状態（待機状態）のときのみ実行されます。
- ・ソフトウェアアップデートのお知らせにある時間の前後30分は待機状態にしておいてください。
- ・ダウンロードが実施される前にはメッセージが表示されます

■液晶パネルの特徴について

- ・液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色が点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- ・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- ・本製品の譲渡または廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。
- ・ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。廃棄の際は地方自治体の条例または規則に従ってください。
- ・miniB-CASカードは破棄せずに（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。

■アナログ放送について

- ・本機はアナログ放送（地上/衛星/CATV放送）については視聴できません。

■HDMI連動機能について

- ・本機とテレビ等をHDMIで接続することで一部連動動作ができることがありますが、その動作については保証致しかねます。

■取扱説明書について

- ・記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
- ・記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

その他

仕 様

種	類	40V型 LEDバックライト搭載 地上デジタル フルハイビジョン液晶テレビ
型	名	AT-40C01SR
電	源	電源入力：AC 100V - 240V 50/60Hz
消 費 電 力		55 W (待機時：0.3W)
年 間 消 費 電 力		98kWh/年
省エネルギー区分名		DF
外形寸法	幅	908 mm
	高さ (スタンド含む)	528 mm (577mm)
	奥行 (スタンド含む)	86 mm (230mm)
質量 (スタンド含む)		約9.4Kg
液晶 パネル	画 面 サ イ ズ	40V型 878mm (幅) × 485mm (高さ)
	駆 動 方 法	TN Mode, Normally White
	画 素 数	1,920 (H) × 1,080 (V)
	応 答 速 度	8.5ms (typ, On/Off)
	輝 度 (最 大 値)	250 cd/m ²
	コントラスト比(標準値)	5000 : 1
音 声 出 力		合計 12W (6 W + 6W) @ 8 Ω THD ≤ 10%
ス ピ ー カ ー		3.0cm X 7.0cm 2個
受 信 チ ャ ン ネ ル		地上デジタル：UHF (13～62) CATV パススルー方式対応 (C13～C63)
入力・出力端子	ビ デ オ 入 力	映像：1V(p-p)、75 Ω、負同期 音声：500mV(rms)、22k Ω 以上 (インピーダンス)
	ヘッドホン 端子(出力)	ヘッドホン 端子口径 3.5mm ステレオミニジャック、適合インピーダンス 8 Ω ～ 32 Ω
	H D M I 入 力 × 2 (D V I)	H D M I Ver. 1.3 準拠 対応入力解像度：480i、480p、720p、1080i、1080 P
		D V I - H D M I 対応入力解像度： 640 X 480 @ 60Hz、800 X 600 @ 60Hz、1024 X 768 @ 60Hz、1360 X 768 @ 60Hz
	U S B 入 出 力	USB 2.0 に 準 拠 × 1 ※ 録 画 H D D 接 続 専 用 端 子
	L A N 入 出 力	RJ-45 (10BASE-T / 100BASE-TX)
リ モ コ ン		DC 3 V (単 4 形 乾 電池、2 個)
キャビネット材質		プラスチック
壁 掛 け 取 付 寸 法		200×200mm
使 用 条 件		周囲温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80% (結露のないこと)
付 属 品		リモコン、単四形乾電池(動作確認用)×2、mini B-CASカード、mini B-CASカードカバー、mini B-CASカードカバー取り付けネジ、スタンドプレート、スタンド軸、ワッシャー2種、スタンド取り付けネジ×4、保証書、取扱説明書

※本製品は電子番組表 (EPG 約 7 日分) と字幕・文字スーパー放送に対応しております。

※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。

※CATV (ケーブルテレビ) を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。

※付属品の単 4 形乾電池 2 本はリモコンの動作確認用です。

※この製品は日本国内専用です。

※HDMI ケーブルで外部機器と接続することによって機能する連動/操作機能には対応しておりません。

※本機は、データ放送に対応しております。LAN が搭載されていますので、双方向番組サービス、番組連動データ放送はご利用できます。

※本製品は専用のスタンドで設置するよう設計されていますが、背面に部品取り付け穴があり、他社販売の壁掛け金具やアーム等を接続することが可能です。これら設置の際は取り付け部品の仕様、壁面・土台部分の仕上げや施工状態によっては落下等による破損や不具合の危険もございます。専門業者に施工をご依頼頂くことを推奨すると共に、専用スタンド以外を使った設置により生じた製品の不具合や破損、落下や製品以外の器物破損等の事故については保証できかねます旨ご了承ください。

※本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

仕 様

■記録メディア（ハードディスク：HDD）

■下記に記載しているハードディスクは当社で使用を推奨するものです。（再生/録画確認済み）

B u f f a l o

HD-L L 2. 0 U 3-B K D HD-L L 2. 0 U 3-B K C

HD-L C 2. 0 U 3-B K D / W H D HD-L C 1. 0 U 3-B K C / W H C HD-L C 2. 0 U 3-B K C / W H C

I / O データ

AVHD-UT 2. 0

AVHD-AUT 2. 0

AVHD-AUT 2. 0 B

T O S H I B A

HD-ED 2 0 T K

E L E C O M

S G D - E X 0 2 0 U B K

■注意事項

※ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。

※本機で使用したハードディスクは、本機でのみ再生・録画ができます。

※本機で使用したハードディスクを本機以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。

※本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、P 2 0 を参照していただきハードディスクの初期化を行ってください。初期化するとハードディスク内のデータは消去されますのでご注意ください。

※上記製品の仕様規格に準ずるハードディスクであれば他社製品であっても使用できますが、正常に使用することができなくても当社は責任を負いません。

※本製品の製造後に発表された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。

※本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。

※U S B にて接続するハードディスクを本製品ではじめてご使用になる場合は、本機へ接続して初期化を行ってから使用してください。

※パソコンなどのデータがある場合は消去されてしまうのでご注意ください。

※U S B フラッシュメモリは使用しないでください。

※電源非供給タイプ（バスパワータイプ）のハードディスクは使用できません。

※F l a s h - S S D（ソリッドステートドライブ）は使用しないでください。

※電源供給型のハードディスク（標準規格U S B 2 . 0 H D D）を使用してください。使用時にはH D D に付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。

※ハードディスクを使用中（アクセス中）に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる事がありますのでご注意ください。

※ハードディスクを取り外す場合にはメニューから「取り外し」を選択してからU S B を抜いてください。

※U S B ハブなどを使用しないでください。複数台のハードディスクを接続しての使用はできません。

※録画した番組を再生すると、映像と音声が多少ズレる場合がありますのでご了承ください。

※U S B ケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質な物をお使いください。

本製品で使えるハードディスク（HDD）は、DVDディスク等と違い半永久的に使用/保存できる記録メディアではありません。録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるC P R M 対応・レコーダー等の使用をお勧めします。

※物理的な衝撃（落下、重量物を本製品にぶつけるなど）を与えないでください。

※テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。

※分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。

※電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。

※高温になる場所（自動車内、直射日光の当たる窓際など）で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用する
と故障の原因となりますので、本製品は風通しの良い場所へ設置してお使いください。

Scubism

株式会社エスキュービズム通商

[本社] 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 2F
[商品管理部] 〒349-1117 埼玉県久喜市南栗橋 4 丁目 14 番地 1 号
南栗橋シティセンタービル 3F

お客様相談窓口

☎ 050-5893-2614

受付時間

月～金 ※弊社営業日(土日祝日を除く)

10:00～17:00